実施計画掲載事業進捗管理票

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	令和7年度 進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	令和8年度(6月末時点) 実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱1】古代から現代までの豊富な文化財																					
*	史跡松江城保存整備事業費	来訪者が安全に松江城を訪れ、松江城の本質的価値への理解を深めることができるよう、令和7年度に策定する「史跡松江城整備基本計画」をもとに、計画的な史跡整備を実施するもの。	文化スポーツ部	★		●	●	●			●		●						・護国神社、市道城山公園線沿いの危険木伐採を実施予定 ・鎮守の森散策路危険木診断を実施予定	19,527千円	国宝松江城課
*	松江城下町遺跡(天神町)発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、松江城下町遺跡(天神町1番外)の発掘調査報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★		●					●								R7年度に実施した発掘調査の報告書作成予定。	1,941千円	史料・埋蔵文化財課
*	西津田岡遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、西津田岡遺跡の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★		●					●								事業準備段階	6,641千円	史料・埋蔵文化財課
*	鵜灘山古墳群発掘調査事業	島根県松江県土整備事務所からの受託を受け、鵜灘山古墳群の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第94条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★		●					●								R7.4より発掘調査実施中	7,704千円	史料・埋蔵文化財課
*	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費	史跡田和山・神後田遺跡の公有地化を行う。	文化スポーツ部	★		●	●				●		●						R7.10に公有地化に同意が得られた2筆について、公有地化の準備実施中(R9公有地化予定) ・R8.6 国庫補助事業計画提出 ・R8.7-8 土地単価算出(予定) ・R8.8-9 用地測量、補償物件調査委託費算出(予定) ・R8.10 国庫補助事業当初申請提出(予定) ・R8.1 国庫補助事業本申請提出(予定)	404千円	史料・埋蔵文化財課
*	重文木幡家住宅主屋 ほか10棟建造物公開活用事業	重文木幡家住宅では保存修理後に施設を公開する予定であり、所有者が実施する公開活用に係る整備に対して国とともに補助を行う。	文化スポーツ部	★		●					●		●						文化財建造物を公開し、活用する工事のための設計を行う (管理事務室、映像視聴コーナー、来館者用トイレ等)	580千円	文化財課
101	木幡家住宅発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、木幡家住宅(宍道町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部		●				●		●				○		R8.3 発掘調査報告書刊行・発送	2,200千円	―	0千円	史料・埋蔵文化財課
102	松江城下町遺跡(東本町)発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、令和6年度に実施した松江城下町遺跡(東本町)の発掘調査にかかる報告書作成業務。	文化スポーツ部		●				●		●				○		R8.3 発掘調査報告書刊行・発送	1,035千円	―	0千円	史料・埋蔵文化財課
103	出雲国分寺瓦窯跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、令和6年度に実施した出雲国分寺瓦窯跡(竹矢町)の発掘調査にかかる報告書作成業務。	文化スポーツ部		●				●		●				○		R8.3 発掘調査報告書刊行・発送	2,610千円	―	0千円	史料・埋蔵文化財課
104	篠ノ谷遺跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、篠ノ谷遺跡(宍道町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		R8.11 現地発掘調査終了。発掘調査報告書はR8年度に作成予定。	4,989千円	R7年度に実施した発掘調査の報告書作成予定	1,660千円	史料・埋蔵文化財課
105	夫手遺跡発掘調査事業	島根県からの受託を受け、夫手遺跡(手角町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		R8.1 現地発掘調査終了。R8.2以降は調査整理作業を行う	10,091千円	R7年度に実施した発掘調査の報告書作成中	2,371千円	史料・埋蔵文化財課
106	文化財情報発信施設整備事業 (埋蔵文化財調査センター)	埋蔵文化財センターと松江市文書館(仮称)を一体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設「文化財情報発信施設」のうち、埋蔵文化財センター部分を整備する。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		・R8年度の文化財情報発信施設整備(環境センター改修)工事実施にあたり、平面レイアウト、設備等について松江城・史料調査課(文書館)、公共建築課ほか関係各課と調整し、基本設計を10月に、実施設計を2月末までに完了。 ・環境センターの備品のうち転用可能なものは環境エネルギー部、資産経営課と協議のうえ、確保済。 ・R8年度の整備工事等は文化庁の補助事業で実施するため、申請済み。	4,602千円	・文化財情報発信施設(松江市文書館・埋蔵文化財センター)整備工事を実施。 ・9月末に史料・埋蔵文化財課埋蔵文化財部門の執務室を移転予定。合わせて加賀事務所も10月初旬に移転、統合予定。 ・埋蔵文化財センター部分および文書館との共用部分の改修等について、文化庁補助申請。 ・別途、埋蔵文化財センターの設置要綱を制定予定。 ・R9.3の文書館オープンに合わせて展示室を開設。	84,922千円	史料・埋蔵文化財課
107	文化財情報発信施設整備事業(文書館)	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		・市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。 令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
108	国宝松江城天守保存修理事業	昭和25年～30年の解体修理から70年近くが経過し、屋根や外壁等に損傷が目立つ国宝松江城天守の維持修理を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●			●	○		・昭和25年～30年の解体修理から70年近くが経過して屋根や外壁等に損傷が目立つ国宝松江城天守の保存修理に向けた基本計画を策定した。	12,246千円	・実施設計中	10,827千円	国宝松江城課
109	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年という大きな節目にあたる令和7年を祝うとともに、松江城天守を守り伝える機運がさらに高まるように、松江城の価値や魅力を発信するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●		●		○		令和7年は、松江城天守の国宝指定から10年となるだけでなく、明治8年の天守保存から150年という大きな節目にあたる。この記念すべき節目を祝うとともに、松江城天守を守り伝える機運がさらに高まるように、松江城の価値や魅力を発信した。 ・記念式典・記念講演 ・記念イベント等支援補助金 ・国宝天守保存リレー講座 ・松江城関係資料集「旧藩事蹟」の第一分冊を刊行	8,211千円	松江城関係資料集「旧藩事蹟」の第二分冊を刊行予定。	5,444千円	国宝松江城課
110	記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業	今後の継続が危ぶまれている「青柴垣神事」及び「諸手船神事」について調査を行い、記録を取る。	文化スポーツ部		●	●					●			●	○		・青柴垣神事等調査委員会の開催。 ・青柴垣神事他関連神事の実施状況調査。 ・神事に関する資料調査。	1,914千円	・青柴垣神事等調査委員会の開催。 ・青柴垣神事他関連神事の実施状況調査。 ・神事に関する資料調査。 ・調査報告書の刊行。	5,573千円	文化財課
111	松江城下町遺跡(殿町)発掘調査事業	民間事業者から受託を受けて実施したマンション建設工事に伴う発掘調査の報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条及び第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●						●				○		R8.3 発掘調査報告書刊行	1,409千円	―	0千円	史料・埋蔵文化財課
112	福富Ⅰ遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、福富Ⅰ遺跡(乃木福富町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●	●					●				○		R8.1 現地発掘調査終了	14,272千円	R7年度に実施した発掘調査の報告書作成中	2,525千円	史料・埋蔵文化財課
113	松本遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、松本遺跡(乃木福富町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●	●					●				○		R7.5 現地発掘調査完了	2,354千円	R8.6 発掘調査報告書刊行	1,187千円	史料・埋蔵文化財課
114	史跡松江城整備基本計画策定事業	史跡松江城は、平成5年に「史跡松江城環境整備指針」が策定されて史跡整備が行われてきたが、以後20年以上が経過して環境や社会情勢が大きく変化することを受けて、平成27年に「史跡松江城保存活用計画」を策定した。この保存活用計画をもとに史跡全体を見通した整備基本計画を策定し、環境整備を図るもの。	文化スポーツ部		●						●		●		○		・史跡松江城整備基本計画策定委員会を3回開催し、計画を完成させた。	10,111千円	―	0千円	国宝松江城課
115	法吉二反田遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、法吉二反田遺跡(法吉町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●						●				○		R8.3 発掘調査報告書刊行	1,471千円	―	0千円	史料・埋蔵文化財課
116	スポーツ・文化振興財団管理	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に係る人件費等。	政策部		●	●	●	●	●	●	●				○		・引き続き、本市におけるスポーツの普及・振興と芸術文化や文化情報に接する機会の提供を図るとともに、財団のあり方や役割の整理を検討する。	190,155千円	・本市の文化振興を後押しするため、財団のあり方や役割について関係機関と調整の上、推進する。	218,385千円	文化振興課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
117	城下町・水の都魅力発信事業	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan "MATSUE" ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		松江城天守国宝指定10周年の節目を契機とした誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催（3～4月） →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ・特別版お城EXPO in 松江 →お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催（6月28日、29日） ・松江城雲海ライトアップ →人工雲海とライトアップで松江城を華麗に彩る（6月28日～8月17日） ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	68,445千円	松江城天守国宝指定10周年の節目を起点にアフター事業を展開し誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催（3～4月） →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ・インタラクティブライトアップ →体感できるライトアップイベントを開催（9月11日～9月23日） ・夜の松江ブランディング →松江城本丸を中心に長期間の夜の松江を楽しめる夜間空間を演出する（9月～12月） ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	59,600千円	観光振興課
118	嫁ヶ島活用事業	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・4月から土日祝（荒天時除く）に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日（日）に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日（土）に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	2,822千円	・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	3,400千円	観光振興課
119	松江水燈路事業	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●			●	●		○		・9月27日（土）から10月19日（日）までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、屋台設置、シャトルバス運行など	22,000千円	実行委員会を早期に実施しプロモーションに時間と労力を割けるようにする。	22,000千円	観光振興課
120	城下町AR・VR体験環境整備事業	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）技術を活用したアプリケーションを提供する。	観光部		●	●	●	●	●				●		○		・アプリケーションの維持管理 ・アプリケーションの広報	1,331千円	・アプリケーションの維持管理 ・アプリケーションの広報	1,089千円	観光振興課
121	潜戸観光遊覧船運営補助金	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●			●	○		近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課
122	小泉八雲旧居保存活用事業	史跡小泉八雲旧居の保存活用計画策定を策定する。	文化スポーツ部		●				●				●		○		令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 8月26日（火）に第3回委員会開催。 11月5日（火）に第4回委員会開催。 令和8年3月印刷・刊行。 委員、文化庁等の意見・助言を受けながら計画策定した。	3,212千円	－	0千円	文化振興課
123	松江の文化力次世代育成・継承事業	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
124	小泉八雲旧居管理運営	小泉八雲旧居（国指定史跡）の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・観覧者数：142,945人 前年比330.0% ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送効果により、注目度が高まり観覧者が大幅に増加した。 ・入館料収入増加に伴い指定管理料が0円となり、指定管理者からの納付金19,777,077円が発生した。 ・好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き受け入れ体制強化や施設PRを継続	2,257千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：60,561人（6月末時点）前年比393.8%	2,854千円	文化振興課
125	美保関観光ビュッフェ管理運営	美保関観光ビュッフェの維持管理を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】 重要文化財に指定（令和4年2月）されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●				●	●	○		・6月7日、10月26日の年2回、灯台公開を実施した。 ・指定管理者の高齢化の問題がある、今後も安定して施設を運営していくため、施設の活用方法を検討した。	4,016千円	美保関観光ビュッフェの管理運営を指定管理者に委託する。	4,391千円	文化振興課
126	小泉八雲記念館管理運営	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：175,195人 前年比191.4% ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送効果により、注目度が高まり入館者が大幅に増加した。 ・入館料収入増加に伴い指定管理料が0円となり、指定管理者からの納付金19,578,456円が発生した。 ・好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き受け入れ体制強化や施設PRを継続	9,546千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：62,404人（6月末時点）前年比223.3%	19,580千円	文化振興課
127	文化力を生かしたまちづくり推進事業	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
128	ジオパーク推進事業	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとへの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
129	重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業補助金	所有者が実施する重文木幡家住宅主屋ほか9棟の保存修理に対する国補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●			●	○		・主屋の組立工事を実施（基礎工事、耐震補強工事） ・新奥座敷棟、奥座敷棟の解体・痕跡調査を実施	9,860千円	令和7年度と同様に補助を実施予定 ・主屋の組立工事（小屋組、屋根葺き、外装工事） ・新奥座敷棟、奥座敷棟の修繕工事	12,925千円	文化財課
130	重文木幡家住宅防災施設整備事業補助金	R4：所有者が実施する重文木幡家住宅新蔵ほか2棟の自動火災報知設備整備に対する国補助事業の随伴補助。 R5：木幡家住宅全体の総合的な防災設備に係る文化庁現地指導旅費に対する市補助	文化スポーツ部		●	●	●	●			●			●	○		主屋に必要な自動火災報知設備（煙感知器）を購入。	217千円	令和7年度と同様に補助を実施予定 令和6年度に購入した器材の取付け工事を実施する。	1,409千円	文化財課
131	わがまち自慢発掘プロジェクト事業	公民館区毎に作成した地域の"お宝"を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		1地区で「まち歩きマップの増刷」、2地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施した。 また、「歴史のまち歩き」を7地区で計7回開催した。	807千円	2地区で「まち歩きマップの増刷」、1地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施予定。 また、「歴史のまち歩き」を3地区で計6回開催予定。 その他、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく。	1,048千円	文化財課
132	国有文化財管理	国有文化財（名勝天然記念物）の毀損・滅失及び不法占拠を防止するため、国庫補助事業を活用して見廻り監視を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●				●			○		令和6年度と同様に実施した。	367千円	令和7年度と同様に実施予定。	375千円	文化財課
133	史跡及び名勝菅田庵維持管理	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			●	○		令和6年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施した。	4,404千円	引き続き、管理団体として追加指定地の維持管理を実施していく。	4,453千円	文化財課
134	史跡松江藩主松平家墓所整備事業補助金	史跡松江藩主松平家墓所について、文化財の本質的価値を将来にわたって望ましい形で保存し、公開活用する目的で、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●			●	○		令和7年3月に開催した整備検討委員会で決した事業計画に基づき実施された整備事業に対し、補助した。	12,894千円	令和8年3月に開催した整備検討委員会で決した事業計画に基づき、補助事業を進行中。	24,545千円	文化財課
135	史跡等維持管理	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●		●		○		松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行った。 令和6年度と同様に実施。	12,692千円	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。 令和7年度と同様に実施予定。	11,887千円	文化財課
136	指定文化財維持管理補助金	指定文化財の管理については、所有者等に様々な法的規制を課して適正な管理をすることとしており、これを円滑に実施するために、所有者等が行う管理上の経費について助成し、文化財の適正な管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●			●	○		令和6年度と同様に、防災設備点検、環境整備、小修理等に対する補助を実施。	1,107千円	令和7年度と同様に、防災設備点検、環境整備等に対する補助を実施予定。	1,039千円	文化財課
137	鹿島歴史民俗資料館管理運営	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、堀田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		特別展「島根半島の考古学展」（令和7年10月12日～令和8年1月18日）を開催。	13,612千円	特別展（内容・会期未定）を実施予定	17,561千円	文化財課
138	出雲玉作資料館管理運営	全国唯一の玉作り資料館として、「玉作りを社に、「近代ののう組工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		春季企画展「海を越えた布志名焼～瀬戸・瀬松木窯180年の歴史～」（令和7年4月8日～5月18日）を開催。 夏季三ツ企画展として、「むかし、玉湯は海だった～来待層と布志名層の化石～」（令和7年7月29日～8月24日）を開催。 秋季企画展「バーナード・リーチが布志名にやってきた！～陶工たちの民藝への新たな挑戦～」（令和7年10月7日～11月16日）を開催。	14,240千円	春季企画展「まもなく開館50年～収蔵品が語るたまゆの歴史～」（令和8年4月7日～5月31日）を開催。 秋季企画展（内容・会期未定）も開催予定。 その他郷土史セミナー等を企画。	15,082千円	文化財課
139	松江市歴史文化まちづくり計画推進	松江市歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）【計画期間：令和2年度～令和11年度】の進捗管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		令和8年2月に第1回松江市歴史まちづくり推進協議会を開催し、松江市歴史的風致維持向上計画の計画変更及び令和7年度計画掲載事業の進行管理・評価について、協議を行った。	64千円	令和8年度も松江市歴史まちづくり推進協議会の開催を予定しており、引き続き、松江市歴史的風致維持向上計画の進捗管理を行っていく。	95千円	文化財課
140	全国街道交流会議	地域独自の自然、歴史、文化を生かしたまちづくり、みちづくりを議論し、街道を共通軸とした連携・交流を行うNPO全国街道交流会議へ所属し年会費を負担する。	都市整備部		●	●	●	●	●			●	●	●	○		・7/16 街道交流首長会において副会長就任。 ・8月 令和7年度年会費の負担 ・11月21～22日 全国街道交流会議第14回全国大会三島大会へ参加（次長が代理出席） ・1月31日 第13回全国大会山陰大会（R5開催）のフォローアップとして中海・宍道湖8の字ルートシンポジウムを後援	208千円	・6/9 街道交流首長会総会に市長が出席 ・今後予定される全国街道交流会議第15回全国大会（仮）東海道大会」及び役員会へ出席し、他の首長との交流を深める ・年会費の負担 ・副会長として必要な提言・要望活動等へ参加	231千円	大橋川治水・国県事業推進課
141	重要伝統的建造物群保存地区推進事業費	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		●おかえりカフェ・住宅よろず相談会（4/18、6/20） ●美保関中学校ふるさと学習（4/24、4/28、5/12、5/22、6/16、7/10） ●住民説明会5/19（屋外広告物条例改正） ●同志社大学調査（5/17）、調査報告会（11/28） ●文化庁研修への参加（茨城県桜川市・5/28～30） ●まちなみ研究会（6/19、7/23） ●美保関まちなみガイド養成講座（6/14、7/5、8/9、9/7、10/4） ●文化庁協議（6/19） ●島根大学観光演習レクチャー（6/21） ●保存審議会（7/15、12/10） ●技術者育成講座の開催（7/16、9/16、10/17、11/18、12/4） ●松江市文化財保護審議会報告（7/29） ●美保関お片付け隊（8/30） ●美保関せキノイチ（10/11） ●真庭市勝山町並み保存会視察（11/30） ●地区決定・計画策定（12/26） ●補助金交付要綱の策定（1月） ●高崎経済大学視察（1/9）	1,719千円	●保存審議会の開催（保存に関する重要事項） ●美保関検討会議の開催（基準の内規等を検討） ●修景ガイドラインの作成（設計士等への周知） ●技術者育成講座の開催（伝建地区の修理設計ができる技術者育成のため全5回開催） ●美保関伝建地区の出張相談所創設（住民が気軽に相談できる場所の創設及び住宅相談所の開設） ●重伝建選定記念事業の開催 ●美保関せキノイチの開催 ●空き家再生プロジェクトの開催（まちなみ研究会へ委託し、R7実施のお片付け隊、空き家DIY等実施） ●防災計画策定に向けた準備を実施。 ●研修参加や文化庁等協議を適宜開催。	6,240千円	文化財課
142	文化財収蔵施設維持管理	文化財収蔵施設として活用する宍道蒐古館及び島根歴史民俗資料館及び八雲郷土文化保存伝習施設の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・令和6年度と同様に実施。 ・宍道蒐古館において、高圧電源低圧化切替工事及びPCB廃棄物処理を実施した。（R7年度完了）	4,967千円	令和7年度と同様に実施。	998千円	文化財課
143	歴史的建造物保全継承事業	歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		申請のあった1棟について2次調査（詳細調査）を実施済み。 また、登録物件の1件について修繕補助を実施済み。	8,047千円	・登録物件の修繕補助の実施（1棟予定） ・保全活用審議会の開催（登録候補3棟の登録予定）	4,128千円	文化財課
144	AR・VR推進事業	田和山史跡公園において、ARコンテンツ（田和山山頂から見た古景観の復元）の実装及び田和山遺跡のVRデータ作成を行う。	文化スポーツ部		●	●	●		●		●		●		○		・R8.5 検討完了予定 田和山山頂から見た古景観の復元データは 概ね完成。 ・R8.11 地元ボランティア団体および地元住民向け にVR体験会を実施 ・R8.3 一部ARコンテンツの現地実装	2,671千円	・R8.4 市長定例記者会見にて一部コンテンツの報道発表 ・R8.5 オープニングイベント開催 一部コンテンツの公開・運用開始 ・年次計画通り、竪穴住居、出土遺物ARコンテンツの作成中。	2,550千円	史料・埋蔵文化財課
145	鏡田遺跡発掘調査事業（受託事業）	民間事業者からの受託を受け、鏡田遺跡（大庭町）の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●	●						●				○	事業延期	0千円	民間事業者より事業中止の申し出あり。	22,173千円	史料・埋蔵文化財課
146	宮田古墳群発掘調査事業（受託事業）	民間事業者からの受託を受け、宮田古墳群（西川津町）の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部		●	●						●				○	発掘調査報告書作成中	1,064千円	R7年度に実施した発掘調査の報告書印刷予定	653千円	史料・埋蔵文化財課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
147	埋蔵文化財本調査事務	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に委託していた発掘調査(本調査)について、松江市直営で実施する体制を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				○		実施中	37,576千円	R7年度より引き続き実施	53,308千円	史料・埋蔵文化財課
148	史跡出雲国分寺跡整備事業(単独事業)	八雲立つ風土記の丘を松江市の南の歴史・文化・観光の拠点とするため、史跡出雲国分寺跡の整備を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		国分寺周辺において特に工事等の計画が発生しなかったため、指導委員会は開催しなかった。	0千円	国分寺周辺において工事等の計画があれば、調査と調査指導を目的とした委員会を開催する。	151千円	史料・埋蔵文化財課
149	史跡田和山遺跡公園管理運営	史跡田和山遺跡公園の維持管理を行うとともに、史跡公園の活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・田和山史跡公園全域の除草作業を業務委託で実施。また園内に繁茂する藪に対し駆除のための業務委託も実施した。 ・神後田遺跡の除草作業については、1回目を6月、2回目を8月、3回目を3月に実施。 ・田和山史跡公園の活用にあたり、地域団体である田和山サポートクラブを支援し各種イベントを実施した。	4,582千円	・田和山史跡公園全域の除草作業を業務委託で実施する。 ・神後田遺跡の除草作業については、1回目を6月に実施した。雑草の繁茂状況から残り2回を目途に実施する。 ・田和山史跡公園の活用にあたり、地域団体である田和山サポートクラブを支援し各種イベントを実施する。	5,271千円	史料・埋蔵文化財課
150	重要遺跡活用促進事業	市内に所在する重要遺跡および発掘調査出土品の活用促進および地域に愛着と誇りを育むための文化財普及啓発事業を企画、開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・八幡鹿島山古墳の発掘調査成果について、10月18日に講演会を実施した。 ・鳥取県青谷かみじち史跡公園で10月25日に開催のイベントに田和山史跡公園のPRのため出展した。	602千円	・令和7年に新たに国史跡に指定された山代郷南新造院跡の発掘調査成果について講演会を実施する。 ・向山古墳において、将来の公有地化を目指した市指定史跡の追加指定を行う。	323千円	史料・埋蔵文化財課
151	石垣修理事業	崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・石垣の変異観測を実施。 ・令和8年3月に松江城整備検討委員会を実施した。	64千円	・令和9年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・令和9年度の発掘調査について、調査計画を策定し、史跡松江城整備検討委員会に諮る。	334千円	史料・埋蔵文化財課
152	田和山史跡公園再整備事業	国史跡指定20周年を迎えた田和山遺跡について、追加指定となった神後田遺跡をはじめとする周辺の松江市南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基に分かりやすく紹介するとともに来訪者が安全に見学できるよう史跡公園の再整備を実施するもの。復元掘立柱建物の改修や手摺、木橋などの公園施設の改修を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・R7.10-3 木橋(2箇所)、手摺り(16箇所)、ベンチ(8箇所)の工事の実施 ・R7.10-12 復元掘立柱建物の茅葺きの改修工事の実施。 ・R7.7-1 トイレ新築工事にかかる基本・実施設計業務を実施 ・R8.3 樹木伐採実施 ・R8.3 整備検討委員会開催	72,879千円	・R8.4 国庫補補助金交付 ・R8.5- トイレ建設工事契約 ・R8.6-3 トイレ建設工事開始 ・予算の範囲で、他土木工事を実施予定 ・R8.10-3 他土木工事の実施(予定)	71,171千円	史料・埋蔵文化財課
153	埋蔵文化財遺物整理事業	発掘調査により出土した遺物の整理・保管を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・恵曇収蔵施設(旧恵曇公民館)の機械警備委託、点検業務を実施した。 ・八雲収蔵庫をR8.2月に解体。	6,874千円	・恵曇収蔵施設(旧恵曇公民館)の機械警備委託、点検業務を継続して実施。 ・恵曇収蔵施設の南側キャノピーについて、修繕を行う。	5,995千円	史料・埋蔵文化財課
154	埋蔵文化財分布試掘調査事業	遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行うとともに、重要遺跡の内容確認を行う。また埋蔵文化財の調査で出土した脆弱遺物について保護、活用のため保存処理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・開発等に伴う試掘・分布調査を実施した。 ・個人住宅の建設に伴う本調査業務を1件、実施した。 ・遺物の保存処理を実施した。 ・八幡鹿島山古墳発掘調査を実施し、発掘調査報告書作成した。	17,988千円	・開発等に伴う試掘・分布調査を継続して実施する。 ・個人住宅の建設に伴う乃木西遺跡の本調査業務を実施した。 ・個人住宅の本調査を実施した山居空遺跡の発掘調査報告書を作成する。 ・保存目的調査として確認調査を実施した山代二子塚古墳の発掘調査報告書を作成する。 ・遺物の保存処理を行う。	23,522千円	史料・埋蔵文化財課
155	松江城伐採木有効活用事業	令和4年度に天守への延焼防止を目的に伐採した木の有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●						●	○		・有効木を利用した松江城パッチを1000個製作した。	770千円	伐採木で立入禁止バーを製作し、石垣危険箇所に設置して、見学者が石垣近辺に立ち入らないように措置を行う。	1,500千円	国宝松江城課
156	松江市文化財保存活用地域計画推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」の推進を図る。松江市文化財保存活用地域計画協議会の開催、「松江のヒストリー集」のWEB公開などを行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」として「出雲国風土記をめぐるヒストリー」を作成中。	5,504千円	令和8年度は計画期間の折り返し時期であり、見直しを実施する。	5,585千円	史料・埋蔵文化財課
157	地域の文化財調査・発信事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館単位での文化財調査を公民館、地域住民と共に行い、その成果を刊行物などを通して発信する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		「文化財保存活用地域計画」に基づき松江市域の古文書所在確認調査を遂行している。今年度から東出雲公民館管区に着手。現在、公民館と連携しながら調査を遂行中。 HPやX で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」19号などの刊行物も刊行。	10,735千円	・令和8年度は東出雲公民館区調査の2年目であり、新たに朝酌公民館区にも着手する。公民館と連携をとりながら、地域の実情に即した効果的な調査手法を確立する必要がある。また、限られた人員で効率的に調査を遂行するため、調査体制の見直しが急務。 ・調査成果を地域に還元するための取組みが必要。	11,226千円	史料・埋蔵文化財課
158	文化財情報デジタル化推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財情報のデジタル化を推進し、市民をはじめとするより多くの人に松江の文化財の魅力を伝えると共に、文化財行政におけるデジタル人財の育成も図る。具体的には、連携協定を結ぶ同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究により松江城天守VR ソフトの作成等を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		文書館収蔵資料の目録整備とデータベースへの反映を実施中。	853千円	令和9年3月の文書館開館時には文書館収蔵資料データベースを公開予定。	1,638千円	史料・埋蔵文化財課
159	国宝松江城調査研究事業	調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を各種出版物の刊行などを通じて積極的に情報発信を行う。 松本市、犬山市と共に、近世城郭天守群の世界文化遺産登録を目指して共同研究を進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込んだ。 ・基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させた。 「松江城研究7」の刊行 「松江城フックレット9」の刊行 「論集松江城 I」の刊行準備 ・講座の開催など啓発活動に取り組んだ。	12,707千円	国際会議の松江開催、海外専門家との共同研究などを通して、調査研究に国際的な視点を取り込む。 ・ICOFORT松江会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究 基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。 ・「松江城フックレット10」「松江城フックレット11」の刊行準備 ・「論集松江城 II」の発刊 ・城郭史部会による浜松調査	13,527千円	国宝松江城課
160	松江城・城山公園整備	城山公園の便益施設の更新や、公園の環境整備を行い、文化財・都市公園としての魅力向上を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●		●		○		・二之丸上ノ段トイレ躯改修工事 ・多門櫓空調設備設置工事 ・猫子之虎口トイレ改修工事 ・令和6年度松江城・塩見縄手樹木危険度診断の結果に基づく危険木の伐採	31,951千円	・公園管理事務所倉庫屋根修繕 ・塩見縄手公園多目的トイレ躯改修工事	3,969千円	国宝松江城課
161	文化財関係書籍製作	松江の歴史・文化についてわかりやすく紹介する「松江市ふるさと文庫」の制作を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		『松江市ふるさと文庫38「石が語る松江市の大地の物語」』を刊行。	533千円	・令和8年度は松江市ふるさと文庫39・40号を発刊予定。	1,689千円	史料・埋蔵文化財課
162	松江城・城山公園管理運営	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・天守台石垣内部3次元計測 ・本丸サクラ樹勢回復維持作業 ・本坂東側(二之丸下ノ段)石垣照明修繕 ・天守脱落瓦修繕	7,465千円	・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・本丸サクラ樹勢回復維持作業 ・褐斑葉枯れ病対策 ・松くい虫防除樹幹注入業務	6,402千円	国宝松江城課
163	興雲閣管理運営	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・興雲閣の管理、施設の修繕	460千円	・興雲閣の管理、施設の修繕	728千円	国宝松江城課
164	松江歴史館管理運営	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・松江歴史館の入館者数は241,542人、観覧者数は69,132人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を6回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を33校行った。 ・名誉館長講座を12回行った。	95,043千円	・松江歴史館の入館者数は65,745人、観覧者数は14,390人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を2校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	110,768千円	松江歴史館
165	松江歴史館資料取得事業	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・資料の寄贈・寄託を受けた。(寄贈資料10件、寄託資料1件)	524千円	・資料の寄贈・寄託を受けた。(寄贈資料6件、寄託資料1件) ・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	2,648千円	松江歴史館
166	松江歴史館調査・研究事業	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・『松江歴史館研究紀要 第14号』の製作を行った。 ・次年度の企画展示の作品調査を行った。	579千円	・『松江歴史館研究紀要 第15号』の製作を行っている。 ・来年度に企画展示予定の作品調査を行っている。 ・展示開催に向けて計画的に調査・研究を行い、松江の魅力を掘り起こしていく。 ・資料の借用交渉を早めに行い、展示資料を確保する。 ・調査・研究の成果は、展覧会の開催や図録の作成、研究紀要の発行などを通してより多くの人に伝える。	958千円	松江歴史館
167	松江歴史館展示企画事業	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		3つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工 小林如泥－その技、神の如し－」(観覧者数 3,216人) ②館蔵品展「長崎家の藤細工－松江でつづく丁寧な仕事－」(観覧者数 3,823人) ③特別展「慶長の城－松江城築城とその時代－」(観覧者数 6,682人) 企画展観覧者数計 13,721人	15,268千円	1つの展覧会を実施した。 ①企画展「意東焼－松江藩が作った幻の磁器－」(観覧者数 3,189人) ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	20,490千円	松江歴史館
168	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,623人だった。 ・次回のホーランエンヤ開催に向けて、気運を高めるため、8月5日から多目的ホールで展示「櫂伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催した。 ・松江歴史館観覧者に対し、松江ホーランエンヤ伝承館のチラシを配布した。	5,848千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,729人であった。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,704千円	松江歴史館
169	ふるさと教育推進事業	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金を配布。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	・令和8年8月5日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金を配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課
170	総合的・体験的な学習充実事業	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
171	大口町交流事業 (～R6歴史が結ぶサマースクール事業)	市内の小学校と義務教育学校の6年生(希望者)を対象に、「姫路吉晴公」主題の地である愛知県大口町(姉妹都市)を訪問し、ゆかりの地等をめぐりながらふるさと松江との歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●						○		・8月19日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施。大口町訪問・交流を12月6日～7日、訪問児童による成果報告会を2月14日に実施。	1,569千円	・7月31日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施予定。大口町訪問・交流を12月5日～6日、訪問児童による成果報告会を2月13日に実施予定。	1,620千円	学校教育課
172	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業	学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図るほか、「松江城授業プロジェクト」と称し、ふるさと教育の充実を図るため、市内すべての小学校と義務教育学校の6年生が「松江城」「松江歴史館」に実際に行って本物を体験する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・市立小・義務教育学校において、すべて予定通り見学が行われた。	2,921千円	・市立小・義務教育学校において、すべての学校で見学実施予定。1学期段階で2校が実施済み。	3,876千円	学校教育課
173	美保関歴史生活体験資料館運営事業	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている。 ・体験実施6校	1,943千円	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている	3,318千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
					R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった					
【柱2】地域に根づく伝統文化																					
201	文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
202	中海振興事業	中海や中海周辺における文化振興、水産振興、農業振興などに取り組むため策定した「松江市中海振興ビジョン」を推進し、中海周辺の地域振興に取り組む。併せて、中海振興多目的施設（なかうみスカイポート）の利用促進を図るもの。	政策部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・中海振興ビジョン掲載事業の進捗管理を行う。 ・中海スポーツパーク魅力向上検討会議を立ち上げ、中海スポーツパークを目的グラウンドおよびその周辺を含めたエリア（中海振興多目的施設含め）の魅力向上に向け、エリアのコンセプトを検討する。	100千円	・中海振興ビジョン掲載事業の進捗管理を行う。 ・令和7年度に設置した「中海スポーツパーク魅力向上検討会議」での検討を踏まえた、中海スポーツパーク多目的グラウンド及びその周辺を含めたエリアコンセプトの策定を行う。 ・民間企業への参入意向調査を行い、市場の動向の把握や基礎条件等の検討を行い、整備方針を決定していく。	1,110千円	地域政策課
203	地域花火実施事業	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・現在15件申請。15件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額（未満切捨て）とし、1団体あたり200千円を上限とした。	3,000千円	・引き続き、地域独自の花火大会（新規・既存問わず）の開催を支援し、地域のにぎわい創出、コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。	3,000千円	観光振興課
204	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の開知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
205	郷土芸能継承発展事業	地域伝統芸能祭の開催や保存団体などの支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		・6/10松江市伝統芸能文化保護育成協議会を開催 ・今年度「後継者育成支援事業」の助成金を新設し、各団体の後継者育成支援を開始 ・SNSの発信（佐陀神能）	1,631千円	今年度は令和9年3月7日に松江伝統芸能祭、佐陀神能　ユネスコ無形文化遺産登録15周年事業～神庭～を同時開催することとなった。 今後、実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備を進めていく予定となっている。 令和7年度より開始した後継者育成支援の継続。	6,004千円	文化振興課
206	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
207	郷土行事等振興事業	松江祭鰐行列及び菊花展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		【鰐行列】 10月19日(日)に110回目となる松江祭鰐行列を開催した。 参加団体：17団体(1,880人) 観覧者数：70,000人 ※鰐まつり及び雰宮は雨天中止とした。 ※2団体の鰐や鰐屋の修繕を支援した。 【菊花展】 11月4日(火)～11月19日(水)に75回目となる松江菊花展を開催した。 応募者：49 来場者：87,000人	14,185千円	【鰐行列】 松江観光協会へ委託を行った。 今年度は10月18日に開催することとなった。 参加団体を維持していくため、継続して支援を行っていく。 【菊花展】 松江観光協会へ委託を行った。 今年度は11月4日から11月18日で開催することとなった。	13,452千円	文化振興課
208	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
209	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		1地区で「まち歩きマップの増刷」、2地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施した。 また、「歴史のまち歩き」を7地区で計7回開催した。	807千円	2地区で「まち歩きマップの増刷」、1地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施予定。 また、「歴史のまち歩き」を3地区で計6回開催予定。 その他、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく。	1,048千円	文化財課
210	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,623人だった。 ・次回のホーランエンヤ開催に向けて、気運を高めるため、8月5日から多目的ホールで展示「權伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催した。 ・松江歴史館観覧者に対し、松江ホーランエンヤ伝承館のチラシを配布した。	5,848千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,729人であった。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,704千円	松江歴史館
211	郷土行事等振興補助金	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事　・御津みなと祭り	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行った。 ・恵曇伝統行事：令和8年1月3日(土)実施	202千円	【恵曇伝統行事】 地域住民の親睦と郷土愛を育むためにも継承していくべき伝統行事であり、引き続き支援していく。	202千円	鹿島支所
212	郷土民謡振興補助金	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・後継者育成事業として、美保関中学校にてふるさと教育を実施。 ・師範資格審査会の実施。	1,000千円	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	1,000千円	美保関支所
213	地域伝統文化継承推進	学校教育において、卒業する児童・生徒に地域に伝わる古き良き伝統や文化に触れる機会を提供することにより、伝統や文化への関心を深めるとともに、それらを大切にしようとする心を育み、かつ地域伝統の継承を図ることを目的として、卒業するものの自らが、地域に伝わる紙すき行い、卒業証書を作成する。	市民部		●	●	●	●			●			●	○		・八雲小、中学校卒業生120名が紙すきを行い、自らの卒業証書を作成したことで、地域に伝わる伝統文化に触れる機会を提供することができた。	338千円	児童・生徒に地域に伝わる伝統や文化に触れる機会を提供することで、伝統文化への関心を高め、継承を図る。	373千円	八雲支所
214	宍道地域郷土行事等振興補助金	松江観光協会宍道町支部（主に実行委員会方式）が実施または支援する「宍道夏祭り協賛事業」に対する事業に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・宍道れんげ祭（湖上花火）は前年と同じ2200発を打上げ、観覧者からは喜びの声があがった。また、露店も出店する中、盛大なお祭りが開催された。	2,335千円	誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちであり続けることを目指し、宍道地域における特色ある郷土行事である「宍道れんげ祭湖上花火大会」を継承・育成していくため、本事業への支援を継続する。	2,335千円	宍道支所
215	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年8月1日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	・令和8年8月5日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課
216	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱3】市民生活に根づく茶の湯文化																					
301	文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
302	職業体験イベント開催支援事業	子どもを対象に、和菓子職人によるデモンストレーションや八雲塗りの絵付け体験などを行う職業体験イベントの開催を支援する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				○		・4/22 商工会議所との打合せ （※今年度事業のスケジュール等の確認） ・5/8 商工会議所との打合せ （※実行委員会の内容等の確認） ・5/26 第1回実行委員会 ・プロポーザルを実施し、山陰中央テレビジョン㈱への委託について第2回実行委員会で書面決議（6/13）し決定。 ・11/12開催予定。 ・11/12開催。	10,000千円	・令和7年度と同様に開催予定 ・開催日：R7.11.26㈬<にぴきメッセ大展示場	11,900千円	商工企画課
303	松江そば文化ブランド化推進事業	「松江の出雲そば」の歴史や文化を広くPRすることで認知度向上を図り、ブランド化を進めることで、観光誘客や地元産そばの生産拡大を目指す。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		7/1 松江そば文化ブランド化推進協議会総会開催 2/11冬の松江そば祭り～第2回松江蕎麦そば式～ 月照寺で開催。　参加者189名 2/4～28冬の松江そばキャンペーン開催 市内31店舗で実施。キャンペーンメニューを注　文いただいた方はプレゼント応募ができるというもの。 応募件数446件。 【その他広報周知】 ・市役所前懸垂幕設置（1/30～3/2） ・市報まつえ2月号記事掲載	1,500千円	松江そば文化ブランド化推進協議会により事業を継続し、引き続き各種取り組みを進める。	1,500千円	商工企画課
304	職人商店街創出事業	中心市街地に、松江が誇る漆器、陶器、民芸紙、めのう細工などの伝統工芸店や、和菓子づくり、茶の湯、そば打ちなどが体験できる飲食店が軒を連ね、優れた職人の技と息ちの活気が感じられる賑わいの拠点の創出を目指す。	産業経済部		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年6月議会で補正予算を要求（17,500千円）。 ・「観える化」、「体験の提供」に1店舗（木工家具）が取組み、合計7店舗となった。 ・職人商店街の各店舗に設置する共通様式の認証プレートを作成。 ・新たに職人商店街の認証制度を創設。	0千円	・前年度に引き続き店舗のリノベーション支援、トライアルスペースへのお試し出店支援、回遊性向上のための賑わいづくり支援の募集及び実施する。 ・また、職人商店街制度に適合する店舗の認証を進める。	15,500千円	商工企画課
305	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出を図る。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				○		・いろは舎での販売、カラコロ工房での工芸品展示販売等により、工芸品販売額を積み上げた。	512千円	・いろは舎での販売、中心市街地トライアルスペースでの販売、カラコロ工房での工芸品展示販売等により、工芸品販売額を積み上げる。 ・今後もカラコロ工房等で複数の工芸イベントを行うことで、工芸品の展示販売機会の確保や魅力を発信する。	512千円	商工企画課
306	地域ブランドPR・販路拡大対策事業	首都圏において松江市の特産品の販売や工芸品の展示等を通して、広く「松江市」をPRするとともに、観光誘客や産品の販路開拓・消費拡大に繋げていく。	産業経済部		●	●	●	●	●		●				○		10月3日～6日の4日間KITTE大阪で松江特産品フェアを開催。松江の特産品及び小泉八雲・セツに関連した商品の販売を行った。 また、国際観光も参加し観光PRを行った。	1,355千円	令和8年度は松江市産品の販売・PRにより、特産品の消費拡大及び販路拡大や「松江市」の観光PRを目的とし、9月24日～26日の3日間、東京（KITTE丸の内）にて特産品フェア開催予定。	1,791千円	商工企画課
307	地域ブランド産地育成事業	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	産業経済部		●	●	●	●		●	●		●		○		・【そば】 作付面積　96.4ha 収穫量　13.4t 農家数減少により作付面積は減少し、播種時期の雨不足や高温により虫の受粉が減ったため収穫量が大幅に減少した。 ・【大豆】 作付面積　31ha ・【西条柿】 春先の凍霜害や夏の高温の影響で、奇形が多くなり、収穫量は前年と同様程度だが、西条柿や干し柿としての出荷量は減少した。	3,221千円	そば・西条柿に関しては、変更なし。 大豆は、令和9年度廃止に向け、令和7年度に比べ、1/3の補助となる。	6,130千円	農政課
308	松江市伝統産業支援事業	市内事業所に従事する優秀な技能者を表彰する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●					○		選考委員会を経て決定した8名の手作り産業優良技能者に対して、令和7年11月20日に表彰を行った。加えて、松江市役所新庁舎4階及び松江市立中央図書館エントランスホールにおいて表彰者の紹介展示を実施した。また、市報松江にて「松江の匠」と題し、受賞者へのインタビュー記事の掲載などの取組を行った。	663千円	表彰対象者の安定的な確保を図るため、令和7年度に引き続き、事業の積極的な周知に取り組む。	634千円	ものづくり産業支援センター
309	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を提供して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
310	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
311	明々庵及び赤山茶道会館管理運営	松江市茶道文化施設（明々庵（県指定文化財）・赤山茶道会館）の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・適正な管理運営を行っていただいている。 ・赤山茶道会館大屋根改修工事、明々庵屋根改修工事を実施した。	28,670千円	松江市茶道文化施設（明々庵（県指定文化財）・赤山茶道会館）の管理運営を指定管理者に委託する。	17,506千円	文化振興課
312	茶の湯文化振興	茶の湯の日イベント、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちゃの湯の学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		□4/26・27日、11/2・3日の春秋2回開催。参加者は春705名、秋820名の過去最大数であった。 □4月24日「茶の湯の日」 ・学校給食で抹茶を使用した特別メニューの提供 ・市役所新庁舎テラスで茶会の開催 ・市内各関連店舗による取組 □毎月24日のSNS発信、庁内放送による茶の湯文化周知 □ちゃのゆの学校4回開催 □10/25・26日松江城大茶会	3,608千円	令和7年度と同様に取り組む。 （その他） ・文化振興課所有の茶筅を新規購入済み	3,713千円	文化振興課
313	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
314	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の"お宝"を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		1地区で「まち歩きマップの増刷」、2地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施した。 また、「歴史のまち歩き」を7地区で計7回開催した。	807千円	2地区で「まち歩きマップの増刷」、1地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施予定。 また、「歴史のまち歩き」を3地区で計6回開催予定。 その他、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく。	1,048千円	文化財課
315	史跡及び名勝菅田庵維持管理【再掲】	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			●	○		・令和6年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施した。	4,131千円	引き続き、管理団体として追加指定地の維持管理を実施していく。	4,453千円	文化財課
316	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・松江歴史館の入館者数は241,542人、観覧者数は69,132人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を6回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を33校行った。 ・名誉館長講座を12回行った。	95,043千円	・松江歴史館の入館者数は65,745人、観覧者数は14,390人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を2校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	110,768千円	松江歴史館
317	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		・資料の寄贈・寄託を受けた。（寄贈資料10件、寄託資料1件）	524千円	・資料の寄贈・寄託を受けた。（寄贈資料6件、寄託資料1件） ・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	2,648千円	松江歴史館
318	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		3つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工 小林如泥－その技、神の如し－」（観覧者数 3,216人） ②館蔵品展「長崎家の藤細工－松江でつづく丁寧な仕事－」（観覧者数 3,823人） ③特別展「摩耗の城－松江城築城とその時代－」（観覧者数 6,682人） 企画展観覧者数計　13,721人	15,268千円	1つの展覧会を実施した。 ①企画展「意匠撚－松江藩が作った幻の磁器－」（観覧者数 3,189人） ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	20,490千円	松江歴史館
319	伝統工芸品育成事業	松江市の伝統的工芸の振興に関する事業（八雲町伝統の和紙製造技術の伝承、普及）を支援し、伝統的工芸の普及と育成を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【八雲地域伝統的工芸育成支援事業補助金】 ・「伝統工芸 手漉き和紙を伝える」事業の実施を支援した。 内容：出雲民藝紙を使った作品作り等のワークショップや紙すき体験の開催、紙すきに必要なトロロアオイの栽培、安部榮四郎記念館開館記念祭の開催	406千円	地域の団体が実施する伝統工芸に関する事業を支援することで、伝統工芸の普及と育成を図る。	406千円	八雲支所
320	宍道地域伝統工芸品育成事業	宍道地域で主に生産される、国の指定する伝統的工芸品「来待石灯ろう」産業の振興のため、来待石灯ろう協同組合が行う新製品開発、展示会参加費、後継者育成等に補助を行い地域の伝統産業の発展を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・10月、11月に市内小学校で職人指導による体験を実施。 ・6月に玉湯町旧大谷小学校のノヴィーコンサートに来待石ライトを展示 ・アイルランドの Lafcadio Hearn Japanese Gardensに、来待石製品を出荷。展示は来春以降の予定。 ・10月に伝統工芸士更新試験を実施し、2名の伝統工芸士が更新。 ・10月島根県技能フェスティバルにて体験及び展示。 ・来待ストーン冬季企画展への協力。 ・松江市ふるさと納税の商品を2点追加登録した。 ・島根県産業技術センターとの共同での来待石ヒートアイランド対策実験は継続中。	237千円	→来待石鉢と首玉づくり体験を開催（6月） ・松江市新庁舎オープニングイベント、宍道ターミナルフェスへ出展（5月） ・玉湯町旧大谷小学校のノヴィーコンサートに来待石ライトを展示（6月） ・文化財への来待石使用について、市への協力依頼。 ・宍道駅で地域住民主体で行われている観光列車「瑞風」の出迎えを好機とした来待石のPR →来待石パネルを来待ストーン及び瑞風の会と協力し制作展示等の事業を予定しており、誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちであり続けることを目指し、宍道地域の来待石による伝統工芸を継承し、育成していくために引き続きの支援が必要であることから、令和8年度も本事業への支援を継続する。	237千円	宍道支所
321	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年8月1日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	・令和8年8月5日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課
322	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさとと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさとと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
323	出雲かんべの里運営事業	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数113,412人（民話館7,796人、工芸館.99,063人、かんべ茶屋6,553人）	43,178千円	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理	45,442千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱4】小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化																					
401	小泉八雲没後120周年記念事業小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金	朝ドラ「ばけばけ」を、全国・世界に向けた松江の魅力発信・観光振興に最大限生かすとともに、将来にわたり「妻セツと出会い、小泉八雲が愛した松江」を市民が誇れるよう「小泉八雲・セツの精神・功績」を後世に引き継ぐ。	観光部		●	●	●	●	●		●	●	●		○		【機運醸成事業】 ラッピングバス運行、あげそげばけロゴ及び番組ビジュアルの資材掲出、あげそげばけロゴの使用促進（申請件数：308件）、 イベント等開催補助金（採択件数：10件）、ドラマを生かした観光振興の講演、イベント開催（ばけフェス）、 「ばけばけ」前回放送パブリックビューイング&トークショー開催（NHK松江との共催） 【誘客プロモーション事業】 特設WEBサイト開設、八雲ゆかりの地（静岡、熊本）におけるイベントでの観光PRブース出展、新聞、FDA機内における広告掲載 （プロモーション予定） JAL機内、都内飲食店でPR動画放映、SNS、Google広告、 アイリッシュフェスティバルinMatsue、グリーンアイルランドフェスティバル（東京）で観光PRブース出展 【商品開発支援事業】 特設WEBサイトでの関連商品紹介 【受入環境整備事業】 ゆかりの地の案内看板の修繕及び新規設置、小泉八雲記念館及び旧居の予約システム導入 【周遊促進事業】 回遊性向上キャンペーン「あげ、そげ、ばけ。めぐり」実施、重ね押しスタンプラリーの実施、顔はめパネルの設置、 「ばけばけ」見聞録（島根県観光連盟との共催） 【撮影事業】 小泉八雲・セツの普及用冊子の製作、普及用冊子を活用した出前講座の実施	12,290千円	【機運醸成】 ラッピングバス運行、協議会ロゴマークの資材掲出、協議会ロゴマークの使用促進、イベント等開催補助金、イベント開催 【誘客プロモーション】 県外における誘客イベント開催、SNS及びWEB広告等の各種メディアを活用したプロモーション、ホームページの掲載情報充実化 【受入環境整備】 ドラマの世界観を体感できる朝ドラ館特別展示の整備	33,000千円	「小泉八雲とセツが出会った まち」ブランド戦略室
402	小泉八雲・セツ普及促進事業	小泉八雲の妻、セツをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説の放映を契機に、市民の小泉八雲・セツへの理解促進を図る機会・コンテンツを充実させる。	文化スポーツ部		●	●			●		●		●		○		■普及用冊子「一から知りたい小泉八雲とセツの物語」（一般向け）、「いっぱい知りたい 小泉八雲とセツの物語」（小学生向け）を作成し、市民の方や市内各所に配布した。 ■中央公論新社発刊の「八雲とセツを追いかけて 神様と妖怪に出会う旅 松江・境港・出雲」の編集協力を行うとともに、当該冊子を購入し、市内学校等への配布や市内施設での販売を行った。 ■出前講座の実施（講師）：羽田岡部（小泉八雲・セツの普及コーディネーター）） 実施回数：21回 受講者数：768人 ■ゲストを招聘したトークイベント等の開催 実施回数：4回 参加者数：214人 ■6月28日に熊本市と「小泉八雲を縁とする連協協力に関する協定」を締結した。 ■1月18日に焼津市と「小泉八雲を縁とする文化・観光連携協力に関する協定」を締結した。	6,053千円 6月補正　1,952千	連続テレビ小説「ばけばけ」で地域の偉人である小泉八雲とセツが注目される中、その盛り上がりを一過性のものとしないために、引き続き普及用冊子の配布及び冊子を活用した出前講座の実施、	6,803千円	文化振興課
403	文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
404	小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業	小泉八雲・セツのドラマに関連し、小泉八雲とセツが生きた明治時代中期の松江の様相を歴史資料やゆかりの品々で振り返る展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●				●		●		●		○		・企画展「連続テレビ小説「ばけばけ」の世界と小泉セツと八雲の時代」を開催した。 （観覧者数 11，850人）	12,278千円	－	0千円	松江歴史館
405	「怪談のふるさと松江」事業	「松江怪寡寒」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）と松江ゴーストツアーの開催について、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●		●		●		○		・松江怪談談義は10月4日に開催。 ・酒林堂八雲は10月25日、26日に開催。 ・松江ゴーストツアーを30回開催。	6,140千円	・酒林堂八雲は8月29日、30日に開催。 ・松江ゴーストツアーを開催。	5,459千円	観光振興課
406	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●			●	○		近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課
407	アイルランド交流事業	アイリッシュフェスティバル in Matsue実行委員会への補助金を交付するほか、在アイルランド日本大使館の協力による松江のPRなどを行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		3月8日(日)にアイリッシュ・フェスティバルを開催し、市民によるパレード、アイルランド音楽演奏会、マルシェを実施した。	1,172千円	・アイルランドとの交流促進のため、アイルランド文化の紹介や、アイリッシュ・フェスティバルなどの交流事業を行う。	1,315千円	国際観光課
408	ニューオーリンズ交流事業	松江ニューオーリンズ・フェスティバル実行委員会への補助金交付を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●			●		○	・市民団体により、ニューオーリンズ・フェスティバルを9月にする予定であったが、実施には至らなかった。	0千円	・市民へのニューオーリンズ文化紹介やニューオーリンズとの交流事業を行う。 ・友好都市のニューオーリンズ市を訪問し、市長や市民団体との意見交換を行い、交流の深化を図る。	7,997千円	国際観光課
409	山陰日本アイルランド協会事業補助金	松江市民に対し、様々なアイルランド文化紹介事業を実施し、松江市事業の補完的な役割を果たしている山陰日本アイルランド協会に対し、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●		●			●	○		アイルランド音楽の練習会や、アイルランド文学の読書会を開催した。	62千円	・アイルランド文化理解の促進のため、補助事業を通じて市民へのアイルランド文化紹介を行う。	62千円	国際観光課
410	多文化共生推進事業	外国人住民支援のほか、国際交流イベントや国際理解講座等を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●				○		・市役所内に外国人相談窓口を設置し、保険・年金、子育て、転出入等の相談に対応した（49件） ・外国人を対象とした交通安全教室（7月）、防災訓練（11月）、正月遊び体験（1月）などの多文化共生イベントを実施した（計87名参加）。 ・国際交流員による海外文化講座を10回開催。	1,264千円	・第2期松江市多文化共生推進プランに基づき、外国人住民支援や市民の多文化理解促進を図る。	578千円	国際観光課
411	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	史跡小泉八雲旧居の保存活用計画策定を策定する。	文化スポーツ部		●						●			●	○		令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 8月26日（火）に第3回委員会開催。 11月5日（火）に第4回委員会開催。 令和8年3月印刷・刊行。 委員、文化庁等の意見・助言を受けながら計画策定した。	3,212千円	－	0千円	文化振興課
412	小泉八雲旧居管理運営【再掲】	小泉八雲旧居（国指定史跡）の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・観覧者数：142,945人 前年比330.0% ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送効果により、注目度が高まり観覧者が大幅に増加した。 ・入館料収入増加に伴い指定管理料が0円となり、指定管理者からの納付金19,777,077円が発生した。 ・好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き受け入れ体制強化や施設PRを継続していく。	2,257千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：60,561人（6月末時点）前年比393.8%	2,854千円	文化振興課
413	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：175,195人 前年比191.4% ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送効果により、注目度が高まり入館者が大幅に増加した。 ・入館料収入増加に伴い指定管理料が0円となり、指定管理者からの納付金19,578,456円が発生した。 ・好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き受け入れ体制強化や施設PRを継	9,546千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：62,404人（6月末時点）前年比223.3%	19,580千円	文化振興課
414	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
415	スピーチコンテスト事業	松江を世界に紹介した文豪・小泉八雲の偉大な業績をたたえ、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		9/21事業終了。 ジュニア29名、シニア23名の計52名（昨年39名）が参加。 八雲会からの実施報告を受け、検査済み。	1,214千円	2026/9/20開催予定。例年と変わらず八雲会へ委託を行った。8月7日を期限とし、参加者の募集を行っている。	1,320千円	文化振興課
416	顕彰団体育成補助金	小泉八雲の顕彰団体である八雲会が行う機関紙「へるん」の発行事業に対し、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			●	○		八雲会が発行する機関紙「へるんvol62」の発行事業を支援した。	110千円	八雲会が機関紙「へるんvol63」の発刊事業を進行中である。発刊されたら、補助金を交付する。	110千円	文化振興課
417	作品普及事業	小泉八雲の作品を対象とする感想文、詩の募集を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		事前審査日数確保のため例年より1ヶ月締め切りを早めた。12/15応募を締め切り、全体187作品（昨年112）の応募があった。「ばけばけ」による小泉八雲の認知度が広がり応募数が増えたものと思われる。 12月中に審査員に応募作品と、審査会のお知らせを送付済み。2/10審査会、3/21表彰式予定	305千円	今年度は、募集期間を8月1日から12月4日までとした。 ポスター掲示と昨年度応募者、関係各所へのチラシ配布を行い周知をはかった。	314千円	文化振興課
418	こども塾スーパーヘルンさん講座事業	八雲に学び、松江や日本の文化を五感で感じることにより、こどもたちならでは視点での「松江」の新たな魅力の発見・創出につなげる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		古江小4年生（松江ろう学校）と恵曇小、大野小の3・4年生が講座を受講する。 6月18日に古江小の4年生、7月9日に恵曇小と大野小の3，4年生に対し、小泉八雲の授業を行った。この後，9月に各学校で五感運動を実施した後、10月、11月にまちあるき、11月、12月に学習発表会を実施する。	295千円	川津小4年生（100名）と城北小4年生（79名）が全4回にわたり講座を受講する。 【第1回】小泉八雲先生による講座 【第2回】オープン・マインドゲームと五感のあそび 【第3回】まち歩き・施設見学 【第4回】調べ学習・発表	295千円	文化振興課
419	朗読のしらべ開催事業	松江市出身の俳優・佐野史郎氏の朗読とギタリスト・山本恭司氏の音楽により小泉八雲の作品の世界観を表現するコラボプログラムを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		○		11/16事業終了。 来場者238名（内:招待18名、大学生以下4名）。 小泉セツをモデルとしたドラマ「ばけばけ」にあわせ、セツが綴った「思ひ出の記」を題材として公演した。	1,555千円	美保関地区の重伝建の記念事業イベントにあわせて、美保神社を会場として計画。出演者許可済み。9/12開催予定。	3,192千円	文化振興課
420	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施・体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
421	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつよ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
422	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		1地区で「まち歩きマップの増刷」、2地区で「まち歩き案内板の修繕」に係る補助を実施した。 また、「歴史のまち歩き」を7地区で計7回開催した。	807千円	2地区で「まち歩きマップの増刷」、1地区で「まち歩き案内板の修繕」に係る補助を実施予定。 また、「歴史のまち歩き」を3地区で計6回開催予定。 その他、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく。	1,048千円	文化財課
423	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、塩田渉と善光寺関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		特別展「島根半島の考古学展」（令和7年10月12日～令和8年1月18日）を開催。	13,612千円	特別展（内容・会期未定）を実施予定	17,561千円	文化財課
424	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代のつう組工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		春季企画展「海を越えた布志名焼～漸舷末葉180年の歴史～」（令和7年4月8日～5月18日）を開催。 夏季ミニ企画展として、「むかし、玉造は海だった～来待層と布志名層の化石～」（令和7年7月29日～8月24日）を開催。 秋季企画展「バーナード・リーチが布志名にやってきた！～陶工たちの民藝への新たな挑戦～」（令和7年10月7日～11月16日）を開催。	14,240千円	春季企画展「まもなく開館50年～収蔵品が語るたまゆの歴史～」（令和8年4月7日～5月31日）を開催。 秋季企画展（内容・会期未定）も開催予定。 その他郷土史セミナー等を企画。	15,082千円	文化財課
425	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・松江歴史館の入館者数は241,542人、観覧者数は69,132人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を6回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を33校行った。 ・名誉館長講座を12回行った。	95,043千円	・松江歴史館の入館者数は65,745人、観覧者数は14,390人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を2校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	110,768千円	松江歴史館
426	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年8月1日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	・令和8年8月5日、各学園（中学校区）、各学校へ交付金を配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園（中学校区）ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課
427	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
428	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・体験実施6校	1,943千円	・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている	3,318千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱5】市民とともに育む文化芸術活動																					
501	**文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】**	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
502	**ぷらっとプラバ魅力発見事業**	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。	教育委員会		●	●					●		●		○		・親子ペア無料招待：8公演 ・公演リハーサル無料公開：N響公演(6月) ・公開レッスン： 著名な音楽家2名（西村 友 氏、児玉 隼人 氏）による市内中学校5校の吹奏楽部の指導やワークショップを実施 ・プラバイベント実施： プラバ夏祭り・冬祭り(8・12月)、プラBar(毎月)	1,863千円	・親子ペア無料招待 ・公演リハーサルの無料公開 ・公開レッスン ・プラバイベント実施	1,850千円	生涯学習課
503	**嫁ヶ島活用事業【再掲】**	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・4月から土日祝（荒天時除く）に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「湖上茶会」を実施。	2,822千円	・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	3,400千円	観光振興課
504	**松江水燈路事業【再掲】**	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●			●	●		○		・9月27日(土)から10月19日(日)までの土・日・祝に開催。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、屋台設置、シャトルバス運行など	22,000千円	実行委員会を早期に実施しプロモーションに時間と労力を割けるようにする。	22,000千円	観光振興課
505	**松江武者行列事業**	平成 15 年から堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した市民参加型イベントとして開催。	観光部		●	●	●	●	●	●	●		●		○		・4月5日(土)に松江武者行列を好天のもと開催した。松江城天守国宝指定10周年を記念し、豊臣秀吉役に俳優の吉田栄作氏を起用し、沿道にも多くの見物客が見えた。	14,000千円	・4月4日(土)に松江武者行列を開催する。	12,980千円	観光振興課
506	**海の学苑ふるさと創生館管理運営**	美保関海の学苑ふるさと創生館（メテオプラザ）の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●		●				○		管理運営を実施している。老朽化に伴う施設の不具合箇所は、随時、必要な修繕を行う。	71,109千円	美保関海の学苑ふるさと創生館（メテオプラザ）の管理運営を指定管理者に委託する。	79,065千円	観光施設課
507	**松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】**	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、もつの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の開知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
508	**文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】**	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
509	**中村元記念館活用事業**	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞（市長賞）を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		・今年度より、博士の資料の調査研究が本格的に行われた。並行して、今後の施設のあり方を検討した。	17,065千円	令和8年度も引き続き資料の調査研究を継続する。並行して、令和9年度からの中村元記念館のあり方について検討する。	17,972千円	文化振興課
510	**文化芸術振興事業**	合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため、松江コーラルソサエティの活動を支援する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		松江市コーラルソサエティに対して支援した。	170千円	合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため今後も支援していく。	170千円	文化振興課
511	**国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業**	3年に1度開催する松江・森の演劇祭について、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●	●	●	○		第8回松江・森の演劇祭開催事業を支援した。 【開催日】10/30(木)～11/8(土) 【会場】松江市八雲林間劇場（しいの実シアター）ほか 【内容】国内外の劇団を招いての上演、会場敷地内でのマルシェの開催など 【劇団】5カ国8劇団8作品（仏・伊・米・英・日） 【観劇者数】2,373人 【来場者数】4,383人	27,500千円 9月補正　4,300千円 9月補正　4,300千円	令和10年度に開催される予定の第9回松江・森の演劇祭に向けて、松江・森の演劇祭実行委員会の活動を支援する。	2,500千円	文化振興課
512	**市民音楽祭開催事業**	松江市民音楽祭を主催する松江市音楽団体連絡協議会へ補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●	●		●	○		松江市音楽団体連絡協議会に対して支援した。	342千円	音楽を愛好する市民に発表の場並びに鑑賞の機会を提供し、市民の音楽文化の振興発展を図るため、松江市音楽団体連絡協議会の活動を支援する。	342千円	文化振興課
513	**市民美術展開催事業**	市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●			●	●			○		開催直前に、会場である島根県立美術館の空調設備が故障したため、予定していた「第53回松江市民美術展」を中止とした。 洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、ユース賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰した。 出品数：221点（うち、一般公募155点、招待66点） 3月に「第53回松江市民美術展　優秀作品展」を開催する。	2,722千円	会期：令和8年9月4日(金)～令和8年9月7日(月) 出費数： 来場者数：	2,803千円	文化振興課
514	**八雲林間劇場管理運営**	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○		・適正な管理運営を行っている。 ・八雲林間劇場（しいの実シアター）の特定建築物定期点検（12条点検）を実施した。 ・指定管理事業として小中学生を対象とした育成事業を実施した。	12,205千円	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	33,511千円	文化振興課
515	**文化協会事業**	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市文化協会へ委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○		【会議】 ・総会　年1回開催(6/14) ・理事会　年3回開催(6/2、12/16、3/27) 【市民文化祭】 ・第29回市民文化祭(10/11～10/13) ・文化講演会(10/25)	15,261千円	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市文化協会へ委託する。	15,127千円	文化振興課
516	**ジオパーク推進事業【再掲】**	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
517	**鹿島文化ホール・ミュージックフェスタ事業**	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま ・鹿島ジュニア音楽会	市民部		●	●	●	●	●	●	●				○		鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま：令和7年8月23日(土)実施 ・鹿島ジュニア音楽会：12月7日(日)実施	494千円	例年通り開催予定。	494千円	鹿島支所
518	**鹿島文化活動推進事業**	鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・令和7年10月25日(土)開催 ・鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	250千円	例年通り開催予定。	250千円	鹿島支所
519	**島根町地域コミュニティ支援事業**	伝統行事、文化講演会の開催など自治会独自の活動に対して補助を行うことで、地域の連帯感の醸成や地域活動の活性化を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		自治会連合会と12自治会より補助金申請があり、予定通り事業を実施した。	1,540千円	各自治会が主体的に実施する取組を支援し、地域住民の連帯感を絶やさないよう今後とも継続していく。	1,559千円	島根支所
520	**美保関芸術文化振興事業**	美保関町内において行われる文化鑑賞事業に対し、地域の文化・芸術の振興に寄与することを目的に文化・芸術の振興に資する事業を支援する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		歴史あるまちなみや建物、偉大な文化が融合する美保関町内において「美保関セキノイチ」を実施。人の交流を創出し、文化・芸術の振興及び地域振興に寄与。	2,328千円	美保関町内において行われる文化鑑賞事業に対し、地域の文化・芸術の振興に寄与することを目的に文化・芸術の振興に資する事業を支援する。	2,328千円	美保関支所
521	**八雲ふれあい文化祭事業**	八雲町内各種文化サークル、小中学校、幼保園、保育園等の活動や作品の展示をはじめ、発表の場をつくることにより、町民の文化意識の向上と交流を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【八雲ふれあい文化祭開催事業補助金】 ・第56回八雲ふれあい文化祭の開催（10月18日、19日）を支援した。 内容：公民館サークル等の作品展示・発表会、ボランティア喫茶、模擬店、給食の試食会の開催　等	169千円	地域の団体への支援を通して、サークル等の活動発信の場を提供し、町民の文化意識の向上と交流を図る。	169千円	八雲支所
522	**宍道地域文化活動推進事業**	文化活動や生涯学習の推進を図るため、宍道公民館運営協議会が行う宍道町民文化祭に対して補助を行う。	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・第52回宍道町民文化祭が11月1日(土)～11月3日(月)に開催された。 ・3日間で述べ1500名超の来場者があり、地域全体で文化祭を盛り上げることができた。	189千円	・「宍道町PR川柳コンテスト」の作品を募集中(10月1日まで)。入賞作品について町民文化祭(11月1日)にて表彰予定。 ・宍道町民文化祭は10月31日(土)～11月3日(火)開催予定。	189千円	宍道支所
523	**総合的・体験的な学習充実事業【再掲】**	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
524	**音楽教育振興事業助成**	交通費等の経費を補助することで、遠距離校を含めた市内の小中学生が一同に会する機会を安定して創出し、児童生徒の音楽教育振興を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				○		・申請に基づき助成。	4,510千円	・今後申請、助成予定。	5,787千円	学校教育課
525	**鹿島文化ホール管理運営**	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				○		NPO法人かしまによる指定管理 利用者数　11,406人（前年同時期比98.9%）	15,649千円	NPO法人かしまによる指定管理	15,210千円	生涯学習課
526	**総合文化センター運営**	松江市総合文化センター（プラバホール）の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団指定管理 ・利用者数113,412人	181,156千円	・公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団指定管理	176,904千円	生涯学習課
527	**八雲アルパホール管理運営**	八雲アルパホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				○		市による直営管理 利用者数　5,562人 （前年同時期比　85.2%）	9,231千円	市による直営管理	9,456千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱6】伝統文化芸術活動の拠点となる施設																					
*	電子図書館運営費	障がいのある方や図書館へ行くことが難しい方を含め、すべての人が本を楽しめる環境を整備するため、電子書籍をウェブ上で貸し出す図書館サービスを導入、運用するもの。	教育委員会	★		●	●	●	●		●						・プロポーザル審査会を開催し電子図書館導入業務委託業者を決定した。 ・現在は関係規則等改正やシステム構築及び選書業務を行っており、8月末稼働を目指している。	9,231千円	中央図書館
601	文化財情報発信施設整備事業（埋蔵文化財調査センター）【再掲】	埋蔵文化財センターと松江市文書館（仮称）を一体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設（文化財情報発信施設）のうち、埋蔵文化財センター部分を整備する。	文化スポーツ部			●	●			●		●			○		・R8年度の文化財情報発信施設整備（環境センター改修）工事実施にあたり、平面レイアウト、設備等について松江城・史料調査課（文書館）、公共建築課ほか関係各課と調整し、基本設計を10月に、実施設計を2月末までに完了。 ・環境センターの備品のうち転用可能なものは環境エネルギー部、資産経営課と協議のうえ、確保済。 ・R8年度の整備工事および備品購入、消耗品購入には文化庁の補助事業で実施するため、申請済み。	4,602千円	・文化財情報発信施設（松江市文書館・埋蔵文化財センター）整備工事を実施。 ・9月末に史料・埋蔵文化財課埋蔵文化財部門の執務室を移転予定。合わせて加賀事務所を10月初旬に移転、統合予定。 ・埋蔵文化財センター部分および文書館との共用部分については、文化庁の補助金交付決定、不足分も増額申請済。 ・文化庁の補助事業のため、埋蔵文化財センターの要綱を制定予定。 ・R9.3の文書館オープンに合わせて展示室を開設。	84,922千円	史料・埋蔵文化財課
602	文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部			●	●			●		●			○		市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センターを改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
603	ぶらっとプラバ魅力発見事業【再掲】	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。	教育委員会			●	●					●		●	○		・親子ペア無料招待：8公演 ・公演リハーサル無料公開：N響公演（6月） ・公開レッスン： 著名な音楽家2名（西村 友 氏、児玉 隼人 氏）による市内中学校5校の吹奏楽部の指導やワークショップを実施 ・プラバイベント実施： プラバ夏祭り・冬祭り（8・12月）、プラBar（毎月）	1,863千円	・親子ペア無料招待 ・公演リハーサルの無料公開 ・公開レッスン ・プラバイベント実施	1,850千円	生涯学習課
604	中海振興多目的施設管理運営	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部			●	●	●	●	●					○		・令和8年1月末時点の施設利用者数は、計10,992名。 ・ウーリングジェルターに指定。	2,462千円	・中海スポーツパーク多目的グラウンド及びその周辺を含めたエリアコンセプトの策定やサウンディング調査を通して、活用策の検討を行う。 ・施設の認知度を高め、利用の促進を図る。	3,074千円	地域政策課
605	京店広場・旧日銀松江匠工房管理	松江市京店広場と旧日銀松江匠工房の管理運営を指定管理者に委託するもの。	産業経済部			●	●	●	●	●		●		●	○		・カラコロ工房の管理、運営 ・カラコロ広場の管理、運営 指定管理者と協力して施設の賑わい創出に向けた取組みを行った。 「ばけばけ展」を筆頭に各種イベントは約80件実施され、安定した来館者数と賑わいの創出を図ることができた。	32,063千円	・カラコロ工房の管理、運営 ・カラコロ広場の管理、運営 施設及び周辺エリアの賑わい創出に向けて取り組んでいく。	33,329千円	商工企画課
606	来待ストーン管理運営	来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託するもの。	観光部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		管理運営を実施している。展示物である来待石を切り出した山の維持保全を行う。	37,733千円	来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託する。	21,265千円	観光施設課
607	海の学苑ふるさと創生館管理運営【再掲】	美保関海の学苑ふるさと創生館（メテオプラザ）の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部			●	●	●	●	●		●			○		管理運営を実施している。老朽化に伴う施設の不具合箇所は、随時、必要な修繕を行う。	71,109千円	美保関海の学苑ふるさと創生館（メテオプラザ）の管理運営を指定管理者に委託する。	79,065千円	観光施設課
608	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	史跡小泉八雲旧居の保存活用計画策定を策定する。	文化スポーツ部			●				●				●	○		・令和7年4月1日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施。 8月26日（火）に第3回委員会開催。 11月5日（火）に第4回委員会開催。 令和8年3月印刷・刊行。 委員、文化庁等の意見・助言を受けながら計画策定した。	3,212千円	－	0千円	文化振興課
609	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●			○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
610	明々庵及び赤山茶道会館管理運営【再掲】	松江市茶道文化施設（明々庵（県指定文化財）・赤山茶道会館）の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		・適正な管理運営を行っていただいている。 ・赤山茶道会館大屋根改修工事、明々庵屋根改修工事を実施した。	28,670千円	松江市茶道文化施設（明々庵（県指定文化財）・赤山茶道会館）の管理運営を指定管理者に委託する。	17,506千円	文化振興課
611	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供することにも、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の開拓を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら5種会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
612	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：175,195人 前年比191.4% ・NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送効果により、注目度が高まり入館者が大幅に増加した。 ・入館料収入増加に伴い指定管理料が0円となり、指定管理者からの納付金19,578,456円が発生した。 ・好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き新たな入館者増加や観光DX等の新	9,546千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数：62,404人（6月末時点）前年比223.3%	19,580千円	文化振興課
613	かやぶき交流館管理運営	八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託するもの。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●		●	○		・適正な管理運営を行っている。 ・茅葺屋根の雨漏りが発生している。引き続き施設のあり方を含め検討した。	3,949千円	八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託する。	3,853千円	文化振興課
614	八雲林間劇場管理運営【再掲】	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●		○		・適正な管理運営を行っている。 ・八雲林間劇場（しいの実シアター）の特定建築物定期点検12条点検を実施した。 ・指定管理事業として小中学生を対象とした育成事業を実施した。	12,205千円	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	33,511千円	文化振興課
615	中村元記念館活用事業【再掲】	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された2万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞（市長賞）を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		・今年度より、博士の資料の調査研究が本格的に行われた。並行して、今後の施設のあり方を検討した。	17,065千円	令和8年度も引き続き資料の調査研究を継続する。並行して、令和9年度からの中村元記念館のあり方について検討する。	17,972千円	文化振興課
616	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
617	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、堀田善衛と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		特別展「島根半島の考古学展」（令和7年10月12日～令和8年1月18日）を開催。	12,997千円	特別展（内容・会期未定）を実施予定	17,561千円	文化財課
618	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代ののろ細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		春季企画展「海を越えた布志名焼～瀬戸木第180年の歴史～」（令和7年4月8日～5月18日）を開催。 夏季ミニ企画展として、「むかし、玉造は海だった～来待層と布志名層の化石～」（令和7年7月29日～8月24日）を開催。 秋季企画展「バーナード・リーチが布志名にやってきた！～陶工たちの民藝への新たな挑戦～」（令和7年10月7日～11月16日）を開催。	14,240千円	春季企画展「まもなく開館50年～収蔵品が語るまゆの歴史～」（令和8年4月7日～5月31日）を開催。 秋季企画展（内容・会期未定）も開催予定。 その他郷土史セミナー等を企画。	15,082千円	文化財課
619	松江城・城山公園管理運営【再掲】	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●		●	○		・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・天守台石垣内部3次元計測 ・本丸サクラ樹勢回復維持作業 ・本坂東側（二之丸下／段）石垣照明修繕 ・天守脱落瓦修繕	7,465千円	・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・本丸サクラ樹勢回復維持作業 ・褐斑葉枯れ病対策 ・松くい虫防除樹幹注入業務	6,402千円	国宝松江城課
620	興雲閣管理運営【再掲】	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●		●	○		・興雲閣の管理、施設の修繕	460千円	・興雲閣の管理、施設の修繕	728千円	国宝松江城課
621	松江市文書館機能整備事業	歴史的に重要な公文書と、地域に所在する歴史史料（古文書等）を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とし、「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、文書館の機能を整備する。	文化スポーツ部 総務部			●	●	●	●		●	●		●	○		・「松江市公文書等の管理に関する条例」と「松江市文書館の設置及び管理に関する条例」を令和8年3月30日に制定・公布済。 ・歴史公文書の評価・選別、移管、目録作成を実施。 ・アーキビスト育成のための研修受講。	8,059千円	令和9年3月に松江市文書館開館を予定しているため、条例に基づき、必要な規則を制定予定。	6,477千円	史料・埋蔵文化財課
622	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●		●	○		・松江歴史館の入館者数は241,542人、観覧者数は69,132人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を6回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を33校行った。 ・名誉館長講座を12回行った。	95,043千円	・松江歴史館の入館者数は65,745人、観覧者数は14,390人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を2回行った。 ・市立小学6年生に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を2校行った。 ・名誉館長講座を3回行った。 ・博物館の持続的な運営を続けていくために、市民に親しまれる博物館を目指す。 ・多くの方に松江歴史館を周知し何度も利用してもらえるように、SNSなどを活用した効果的な広報や、関心を抱くイベント、分かりやすい展示を行う。	110,768千円	松江歴史館
623	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●		●	○		・資料の寄贈・寄託を受けた。（寄贈資料10件、寄託資料1件）	524千円	・資料の寄贈・寄託を受けた。（寄贈資料6件、寄託資料1件） ・松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得する。 ・資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。	2,648千円	松江歴史館
624	松江歴史館調査・研究事業【再掲】	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●			○		・『松江歴史館研究紀要　第14号』の製作を行った。 ・次年度の企画展示の作品調査を行った。	579千円	・『松江歴史館研究紀要　第14号』の製作を行っている。 ・来年度に企画展示予定の作品調査を行っている。 ・展示開催に向けて計画的に調査・研究を行い、松江の魅力を振り返っていく。 ・資料の借用交渉を早めに行い、展示資料を確保する。 ・調査・研究の成果は、展覧会の開催や図録の作成、	958千円	松江歴史館
625	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●		●	○		3つの展覧会を実施した。 ①企画展「松江の名工　小林如泥－その技、神の如し－」（観覧者数 3,216人） ②館蔵品展「角偉家の錺職工－松江でつづく丁寧な仕事－」（観覧者数 3,823人） ③特別展「慶長の城－松江城築城とその時代－」（観覧者数 6,682人） 企画展観覧者数計　13,721人	15,268千円	・1つの展覧会を実施した。 企画展「意東焼－松江藩が作った幻の磁器－」 ・市民や観光客に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をわかりやすく展示をしていく。 ・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。 ・近年増加している外国人観覧者にも対応した展示を行っていく。	20,490千円	松江歴史館
626	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●		●			○		・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は7,623人だった。 ・次回のホーランエンヤ開催に向けて、気運を高めるため、8月5日から多目的ホールで展示「櫂伝馬船を彩る巨大な飾り」を開催した。 ・松江歴史館観覧者に対し、松江ホーランエンヤ伝承館のチラシを配布した。	5,848千円	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は1,729人であった。 ・松江歴史館からの誘導入館者数を増やすため、松江歴史館で効果的な広報を行う。	5,704千円	松江歴史館
627	総合文化センター整備	施設建設後35年以上が経過する中、文化振興の拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、遵法・耐震・保全・改善に係る総合的な改修を行う。	教育委員会			●	●	●	●	●		●			○		・駐輪場雨樋修繕 ・開架書庫系統ダクトSFD修繕 ・中央監視盤電源修繕 ・東面汚水桝周辺舗装陥没修繕 ・雨水配管修繕工事	4,122千円	・電気設備工進行時調査設計業務 ・防火シャッター修繕 ・西駐車場出入り口カーゲート外更新工事 ・大ホール地下ピット既設冷温水配管保温やり替え工事	9,496千円	生涯学習課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
					R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった					
628	**美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】**	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○		・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている ・体験実施6校	1,943千円	・運営業務委託先：松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている	3,318千円	生涯学習課
629	**公民館管理**	公民館の維持管理を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				○		・市内29公民館を指定管理者制度により運営した。 ・利用者数688,480人	726,387千円	・市内29公民館を指定管理者制度により運営する。	753,760千円	生涯学習課
630	**公民館施設改修事業**	公民館施設・設備の耐用年数等を踏まえ、優先度の高いものから改修等を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・空調改修工事(城西工事、竹矢公民館工事、東出雲設計、島根設計) ・トップライト改修工事(津田工事) ・受変電設備改修工事(島根設計) ・機械室外部扉更新工事(美保関工事)	31,342千円	・空調改修工事(東出雲工事、島根工事) ・屋根改修工事(生馬設計) ・受変電設備改修工事(島根工事、法吉工事)	92,174千円	生涯学習課
631	**公民館振興事業**	市民学習発表会を松江市公民館運営協議会連合会へ事業実施を委託し実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				○		ブロック事業や市民学習発表会へ向けて各地区で活動を行った。 令和7年度をもって事業を終えることとなった。	2,000千円	令和7年度をもって事業を終えることとなった。	0千円	生涯学習課
632	**鹿島文化ホール管理運営【再掲】**	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	○		NPO法人かしまによる指定管理 利用者数　11,406人(前年同時期比98.9%)	15,649千円	NPO法人かしまによる指定管理	15,210千円	生涯学習課
633	**出雲かんべの里運営事業【再掲】**	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数113,412人(民話館7,796人、工芸館,99,063人、かんべ茶屋6,553人)	43,178千円	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理	45,442千円	生涯学習課
634	**人と情報・文化の交流館運営**	人と情報・文化の交流館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・一般社団法人加賀潜戸遊覧船指定管理 利用者数 利用者数4,086人(ギャラリー見光29人、遊覧船乗船者4,057人)	9,852千円	・一般社団法人加賀潜戸遊覧船指定管理	13,361千円	生涯学習課
635	**総合文化センター運営**	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	○		・公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団指定管理 ・利用者数113,412人	181,156千円	・公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団指定管理	176,904千円	生涯学習課
636	**八雲アルパホール管理運営【再掲】**	八雲アルパホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		市による直営管理 利用者数　5,562人 (前年同時期比　85.2%)	9,231千円	市による直営管理	9,456千円	生涯学習課
638	**中央図書館運営**	市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。中央図書館を中心に、2つの地域館、移動図書館車、配本事業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書館サービスを提供する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		＜令和7年度実績＞ 【利用者数】86,582人 【貸出冊数】399,021冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む ・引き続き学習室等を利用する中・高校生等に対するおすすめ本の紹介や、SNS等で市立図書館イベントなどの情報発信に努め、図書館の利用者及び貸出冊数の増に繋げていきたい。	32,369千円	・引き続き学習室等を利用する中・高校生等に対するおすすめ本の紹介や、SNS等で市立図書館イベントなどの情報発信に努め、図書館の利用者及び貸出冊数の増に繋げていきたい。 ・中央図書館は、プラバホールとともに6月に開館40周年を迎えることから、連携したPR・事業を行うことで来館を促したい。	31,149千円	中央図書館
639	**移動図書館運営**	図書館から離れた地域へ移動図書館車(ブックモービル)で巡回して図書の貸出等を行い、全市域への図書館サービス充実を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		＜令和7度実績＞ 【利用者数】2,687人 【貸出冊数】48,409冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。 ・引き続きイベントへの参加(臨時巡回)やSNSを活用した情報発信に努め、新規利用者の増加を図る。	1,412千円	・引き続きイベントへの参加(臨時巡回)やSNSを活用した情報発信に努め、新規利用者の増加を図る。 ・4月から新型車両で運行を開始した。9月からは運行先を増やした新しいルートとするとともに、積極的なPRを行い、利用促進に繋げたい。	1,649千円	中央図書館
640	**島根図書館運営**	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		＜令和7年度実績＞ 【利用者数】3,461人 【貸出冊数】16,834冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。 ・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る	3,233千円	・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る	3,458千円	中央図書館
641	**東出雲図書館運営**	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		＜令和7年度実績＞ 【利用者数】13,203人 【貸出冊数】58,905冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。 ・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る。	3,888千円	・引き続きイベント実施やSNS等を活用した情報発信に努め、利用者の増加を図る。	4,405千円	中央図書館
641	**まちのRe－project事業**	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼(3月発送) ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発(4件31部配布) ・都市再生推進法人の指定および業務連携	1千円	・4～7月　都市再生推進法人ヒアリング(R7報告・R8計画) ・4月～翌3月　遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信 ・リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。 ・リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。 ・R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。	34千円	都市政策課まちづくり推進室

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度 R7	R8	R9	R10	六つの取組の視点 知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	進捗状況 予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
【柱7】宍道湖、堀川、中海等の松江の景観																					
701	**文化財情報発信施設整備事業（文書館）【再掲】**	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料（古文書等）を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。	文化スポーツ部		●	●			●		●				○		・市民等が歴史的公文書や地域の歴史資料などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点として、現在の松江市環境センター改修し文化財情報発信施設の一つとして「文書館」を整備するもの。 ・令和7年度は設計業務委託を行う。	2,907千円	施設整備工事を実施。令和9年3月に文書館開館予定。	40,844千円	史料・埋蔵文化財課
702	**松江湖畔公園再整備事業**	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や湖岸・公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備を実施する。	都市整備部		●	●	●							●		○	・R7.6.26～R8.3.19 松江湖畔公園（千鳥南公園）詳細設計業務委託 ・R7.10.24～R8.3.6 松江湖畔公園（千鳥南公園）再整備その1工事 ・R7.12.7 松江湖畔公園（千鳥南公園）再整備その2工事契約 【関連】松江湖畔公園（千鳥南公園）の国土交通省工事部分 ・水辺ステージ　供用開始（4月） ・多目的テラス　供用開始（11月）	48,894千円	・R8.8.31 松江湖畔公園（千鳥南公園）再整備その2工事竣工 ・R8.6.1 松江湖畔公園（千鳥南公園）再整備その3工事契約 ・松江湖畔公園（千鳥南公園）再整備工事を進める。	141,042千円	公園緑地課
703	**中海振興多目的施設管理運営【再掲】**	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●						○		・令和8年1月末時点の施設利用者数は、計10,992名。 ・ウーリングシェルターに指定。	2,462千円	・中海スポーツパーク多目的グラウンド及びその周辺を含めたエリアコンセプトの策定やサウンディング調査を通して、活用策の検討を行う。 ・施設の認知度を高め、利用の促進を図る。	3,074千円	地域政策課
704	**雲州人参振興対策事業**	雲州人参産地の再興を図るため、生産にかかる農家負担を軽減できるよう新たな栽培体系の実証、普及などに向けた取り組みに対して支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●		●	●			●	○		・雲州人参栽培体系近代化実証試験 ・島根大学と共同して、栽培実証および試験する。（4月） ※作付者4名、作付け圃場：5a ・補助金交付 雲州人参の作付に対する補助（4月及び3月） ※例年は3月に補助するが、天候不順により令和7年3月の作付が間に合わなかったものについて、令和7年4月に補助した	1,331千円	■雲州人参栽培体系近代化実証試験 ・島根大学と共同して、栽培実証および試験する。（4月） ※作付者4名、作付け圃場：5a ■補助金交付 雲州人参の作付に対する補助（3月）	1,040千円	農政課
705	**松江大根島牡丹振興対策事業**	本市特産である、松江大根島牡丹の生産振興を図るため、国内外の販路拡大に向けた取組、土壌病害虫対策として、消毒剤の購入、新規就農者への苗の供給に対する支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●		●	●				○		（4月）（松江農林高校生徒が牡丹生産農家の松本農園にて学習） ・中国牡丹園無料解放（4月-5月） ・松江駅で牡丹展示（4-5月） ・とっとり花回廊牡丹展（4月-5月） ・国時議会での牡丹展示（5月） ・米子台湾便就航記念セレモニーでの牡丹提供（5月） ・まつえゼロカーボンサミット2025懇親会での牡丹提供（6月） ・高校総体牡丹展示（7月-8月） ・松江市農林振興協議会園芸特産部会で牡丹出前講座を開催（9月）（松江農林高校生徒が推文木について学習） ・新松江市合併20周年記念式典（10月） ・菊花展において牡丹展示（11月） ・松江市高齢者クラブ連合会合併20周年記念式典（11月） ・松江駅で牡丹展示（12-1月） ・松江市民新年賀会（1月） ・松江市農林振興協議会園芸特産部会で牡丹出前講座を開催（1月）（松江農林高校生徒が牡丹の出荷について学習） ・堀川遊覧船地ビール能前通路牡丹展示（1-2月） ・島根県建設花市（2月） ・SNSによる情報発信 ■担い手確保の取組 ・牡丹栽培体験を実施 ■国内外販路拡大 ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催 ・台湾での建国花市へ出展支援（2月） ■補助金交付 ・切花品評会を実施した島根県農業協同組合への補助 ・国内販路拡大事業を実施している松江大根島牡丹協議会への補助 ・松江市内における牡丹の栽培面積の拡大への補助 ・牡丹における土壌病害虫対策のために使用する土壌消毒剤の購入経費の補助 ・海外への輸出促進事業を実施している島根県農業協同組合への補助	3,964千円	○実施状況 ■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施 ・大根島牡丹祭、切花品評会（4月） ・建国花市関係者来松（20周年記念）（4月） ・県が牡丹出前講座を開催（松江農林高校生徒が①池泉牡丹花鳥み体験を由志園にて実施②牡丹生産農家の松本農園にて学習）（4月） ・中国牡丹園無料解放（4月-5月） ・松江駅で牡丹展示（5月） ・とっとり花回廊牡丹展（4月-5月） ・県が牡丹出前講座開催（松江農林高校にてワークショップを実施）（5月） ・松江市新庁舎グランドオープンセレモニーでの牡丹展示（5月） ・SNSによる情報発信 ■担い手確保の取組 ・牡丹栽培体験及び研修を実施中。 ■補助金交付 ・切花品評会を実施した島根県農業協同組合への補助 ○今後の方針 ■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施予定 ・菊花展において牡丹展示（11月） ・松江駅で牡丹展示（12-1月） ■国内外販路拡大 ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催予定 ・台湾での建国花市へ出展支援予定（1月-2月） ■補助金交付 ・国内販路拡大事業を実施している松江大根島牡丹協議会への補助 ・松江市内における牡丹の栽培面積の拡大への補助 ・牡丹における土壌病害虫対策のために使用する土壌消毒剤の購入経費の補助 ・海外への輸出促進事業を実施している島根県農業協同組合への補助 ・牡丹市場・ニーズ調査を実施している島根県農業協同組合への補助	8,282千円	農政課
706	**八束花卉生産振興センター管理運営**	農家の栽培・経営技術の向上、牡丹の品種の保存活動を行い、特産品の認知度向上を図る。特産品を基幹とした補完作物や新規作物の研究を行う。	産業経済部		●				●	●	●				○		・雲州人参栽培体系近代化実証試験 島根大学と共同して、栽培実証および試験する。（4月） ※作付者4名、作付け圃場：5a ・牡丹品種保存の取組 今年度の改植品種を選定中	22,512千円	―	0千円	農政課
707	**城下町・水の都魅力発信事業【再掲】**	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan "MATSUE" ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・松江城天守国宝指定10周年の節目を契機とした誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催（3～4月） →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ・特別版お城EXPO in 松江 →お城好きの祭典「お城EXPO」の特別版を松江で開催（6月28日、29日） ・松江城雲海ライトアップ →人工雲海とライトアップで松江城を華麗に彩る（6月28日～8月17日） ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	68,445千円	・松江城天守国宝指定10周年の節目を起点にアフター事業を展開し誘客促進を図る ・桜と武者のシーズン開催（3～4月） →桜木のライトアップ、武者をテーマとしたイベント ・インタラクティブライトアップ →体感できるライトアップイベントを開催（9月11日～9月23日） ・夜の松江ブランディング →松江城本丸を中心に長期間の夜の松江を楽しめる夜間空間を演出する（9月～12月） ・武者のまち発信事業 →松江城での武者によるおもてなし	59,600千円	観光振興課
708	**地域花火実施事業【再掲】**	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・現在15件申請。15件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額（未満切捨て）とし、1団体あたり200千円を上限とした。	3,000千円	・引き続き、地域独自の花火大会（新規・既存問わず）の開催を支援し、地域のにぎわい創出、コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。	3,000千円	観光振興課
709	**嫁ヶ島活用事業【再掲】**	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	○		・4月から土日祝（荒天時除く）に嫁ヶ島ライトアップを実施している。 ・8月3日（日）に「歩いて渡る嫁ヶ島」、9月21日（土）に「嫁ヶ島万灯会」、10月11～26日までの土日祝に「逍上茶会」を実施。	2,822千円	・引き続き、嫁ヶ島のライトアップおよび関連イベントを支援する。	3,400千円	観光振興課
710	**松江水郷祭補助金**	松江市の最大の夏祭りである水郷祭の運営のため、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●		●			●	○		開催日：8月2日（土）・3日（日） 内容：湖岸への有料観覧席の設置、花火の演出強化を行い開催する。 ・湖上花火大会（2日で21,000発、演出面を強化） ・有料観覧席（両日約14,500席） ・ドローンショー（888機）	71,539千円	開催日：8月1日（土）・2日（日） 内容：湖岸への有料観覧席の設置、花火の演出強化を行い開催する。 ・湖上花火大会（2日間で21,000発） ・ドローンショー（1,000機） ・有料観覧席（2日間で約28,500席を設置）	19,000千円	観光振興課
711	**潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】**	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●			●	○		近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	近年の物価変動分や運営事業者の収支状況をを考慮し、適切に補助金を交付する。	7,500千円	観光施設課
712	**チェリーロード管理運営**	市道チェリーロード線沿いの桜並木の維持管理を行う。桜並木の施肥、消毒、下草刈を行う。桜開花時期に交通誘導、ライトアップ、看板の設置及び撤去を行う。	観光部		●	●	●	●			●				○		チェリーロードの良好な環境を維持するため、引き続き草刈等の必要な管理を行う。	1,928千円	チェリーロードの良好な環境を維持するため、引き続き草刈等の必要な管理を行う。	2,670千円	観光施設課
713	**古浦海水浴場管理運営**	恵曇漁港古浦海岸の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●			●				○		・古浦海水浴場パスハウスの清掃管理業務を実施している。（年間） ・古浦海岸砂撒去を実施した。（6月） ・古浦海水浴場の海浜清掃、公園緑地の草刈を実施する。（7月）	2,105千円	・古浦海水浴場パスハウスの清掃管理業務を実施している。（年間） ・古浦海岸砂撒去を実施した。（6月） ・古浦海水浴場の海浜清掃、公園緑地の草刈を実施した。（7月）	2,838千円	観光施設課
714	**自然公園維持管理**	宍道湖北山県立自然公園内施設及び大山隠岐国立公園内施設の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●	●		●				○		必要な修繕や委託を引き続き実施し、自然公園内施設の維持管理を行う。	11,790千円	必要な修繕や委託を引き続き実施し、自然公園内施設の維持管理を行う。	12,809千円	観光施設課
715	**松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】**	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【松江の文化力体験推進事業】 10月～12月に実施：体験教室9回、258名 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 申請件数：2件 引き続き事業の周知を行い、地域に根づく伝統行事の保存・継承の取組みを支援する。	2,500千円	【松江の文化力体験推進事業】 こどもとその保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化、地域に根づく伝統行事の保存・継承への取組みを支援する。	2,300千円	文化振興課
716	**文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】**	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				○		【審議会】 第1回審議会：10月1日開催 第2回審議会：3月23日開催 引き続き文化芸術振興事業の進捗管理を行うとともに、「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知向上を図る。	623千円	【審議会】 令和8年度第1回審議会（令和8年9月） 令和8年度第2回審議会（令和9年3月） 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	643千円	文化振興課
717	**椿文化観光振興事業**	松江市の市花である「椿」の開花時期（3月から）に合わせ、松江城にて「松江椿まつり」を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●				●			○	・「松江椿まつり」は開催を見送る。 ・フォーゲルパーク内に植樹した椿の維持管理を行う。	227千円	・「松江椿まつり」は開催を見送る。 ・フォーゲルパーク内に植樹した椿の維持管理を行う。	212千円	文化振興課
718	**ジオパーク推進事業【再掲】**	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		夏から秋にかけて実施したジオパークに関するツアーや子ども向けイベントには多くの人が参加し、観光や地域振興につながった	11,672千円	皆美が丘女子高の「まつえ学」や松江高専の「グループ創造セミナー」において海洋環境に関する取組を行ってもらい、地域の理解を深めた。また今後は外国語パンフレットの作成を進め、より多くの人にジオパークの魅力を発信していく。	11,727千円	ジオパーク推進室
719	**わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】**	公民館区毎に作成した地域の"お宝"を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		1地区で「まち歩きマップの増刷」、2地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施した。 また、「歴史のまち歩き」を7地区で計7回開催した。	807千円	2地区で「まち歩きマップの増刷」、1地区で「まち歩き案内版の修繕」に係る補助を実施予定。 また、「歴史のまち歩き」を3地区で計6回開催予定。 その他、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく。	1,048千円	文化財課
720	**重要伝統的建造物群保存地区推進事業費【再掲】**	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	○		●おかえりカフェ・住宅よろず相談会(4/18、6/20) ●美保関中学校ふるさと学習(4/24、4/28、5/12、5/22、6/16、7/10) ●住民説明会5/19(屋外広告物条例改正) ●同志社大学調査(5/17)、調査報告会(11/28) ●文化庁研修への参加(茨城県桜川市5/28～30) ●まちなみ研究会(6/19、7/23) ●美保関まちなみガイド養成講座(6/14、7/5、8/9、9/7、10/4) ●文化庁協議(6/19) ●島根大学観光実習レクチャー(6/21) ●保存審議会(7/15、12/10) ●技術者育成講座の開催(7/16、9/16、10/17、11/18、12/4) ●松江市文化財保護審議会報告(7/29) ●美保関お片付け九隊(8/30) ●美保関セキノイチ(10/11) ●真庭市勝山町並み保存会視察(11/30) ●地区決定・計画策定(12/23) ●補助金交付要綱の策定(1月) ●島崎経済大学視察(1/9)	1,719千円	●保存審議会の開催（保存に関する重要事項） ●美保関検討会議の開催（基準の内規等を検討） ●修景ガイドラインの作成（設計士等への周知） ●美保関まちなみガイド養成講座の開催（美保関のガイド育成のため全5回開催） ●技術者育成講座の開催（伝建地区の修理設計ができる技術者育成のため全5回開催） ●美保関伝建地区の出張相談所創設（住民が気軽に相談できる場所の創設及び住宅相談所の開設） ●重伝建選定記念事業の開催 ●美保関セキノイチの開催 ●空き家再生プロジェクトの開催（まちなみ研究会へ委託し、R7実施のお片付け九隊、空き家DIY等実施） ●防災計画策定に向けた準備を実施。 ●研修参加や文化庁等協議を適宜開催。	6,240千円	文化財課
721	**賢明な利用推進事業**	ラムサール条約の目的のひとつである「賢明な利用（ワイズユース）」を市民・事業者・行政が一体となって推進するため、「中海・宍道湖一斉清掃（中海側）」、「全国ラムサール条約登録湿地市町村会議」への参加により情報交換などを図る。	環境エネルギー部		●	●	●	●	●	●	●			●	○		【全国ラムサール条約登録湿地関係市町村会議】 11月6日、7日開催 【中海・宍道湖一斉清掃（中海側）】 実 施 日　R7年6月8日(日) 参加人数　中海側　2,721名(全体　5,058名)	572千円	【全国ラムサール条約登録湿地関係市町村会議】 職年（7）参加のためR8はなし。 【中海・宍道湖一斉清掃（中海側）】 実 施 日　R8年6月14日(日) 参加人数　中海側　2,769名(全体　5,604名)	234千円	環境エネルギー課
722	**宍道湖水環境改善協議会負担金**	松江市、出雲市、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、島根県が連携し、「中海・宍道湖一斉清掃（宍道湖側）」、「さくらおろち湖環境美化活動」、「手長エビ採り体験」、「宍道湖絵画コンクール」、「ヨシ刈り取り事業」などの取り組みを実施し、宍道湖の総合的な水環境の改善に努める。	環境エネルギー部		●	●	●	●			●			●	○		【中海・宍道湖一斉清掃（宍道湖側）】 実 施 日　R7年6月8日(日) 参加人数　宍道湖側　2,337名(全体　5,058名) 【さくらおろち湖環境美化活動】 実 施 日　R7年7月11日(金) 参加人数　37団体　172名 【手長エビ採り体験】 実 施 日　R7年7月18日(金) 参加人数　75名 【親子で楽しむ宍道湖での水遊び体験】 実 施 日　R7年8月1日(金) 参加人数　57名 【宍道湖絵画コンクール】 募集期間　R7年7月中旬～9月26日(金) 応募総数　64作品 表 彰 式　R8年1月6日(火) 【たたらの里　森で学ぶ、遊ぶ】 実 施 日　R7年10月18日(土) 参加人数　39名 【ヨシ刈り取りボランティア】 実 施 日　R8年3月13日(金)・14日(土) 参加人数　265名(2日間合計) 【ヨシ紙の活用】 洋紙＝名刺、賞状用紙、パンフ、メモ帳、折り紙　など作成 和紙＝教材（版画）、敬老祝品の包装紙などに活用 繊維化し、タオルやストールを製作	2,002千円	【中海・宍道湖一斉清掃（宍道湖側）】 実 施 日　R8年6月14日(日) 参加人数　宍道湖側　2,835名(全体　5,604名) 【さくらおろち湖環境美化活動】 実 施 日　R8年7月17日(金) 参加人数　33団体　165名 【手長エビ採り体験】 実 施 日　R8年7月17日(金) 参加人数　70名 【宍道湖絵画コンクール】 募集期間　R8年7月中旬～9月25日(金) 応募総数　募集中 表 彰 式　R8年11月8日(日)予定 【ヨシ刈り取りボランティア】 実 施 日　R9年3月12日(金)・13日(土)予定 参加人数　R9年1月～募集予定 【ヨシ紙の活用】 検討中	2,002千円	環境エネルギー課

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						進捗状況		実績	決算額	実施状況、今後の方針	当初予算	担当課
					R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった					
723	海岸漂着ごみ等処理事業	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみの収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。	環境エネルギー部		●	●	●	●			●				○		【海岸漂着ごみ等処理事業】 ボランティア回数　217回　　回収量　48.15t 委託業者による回収委託料　2,606,340円 委託業者回収困難物の直営回収での燃料代　31,629円 【今後の方針】 引き続き地域ボランティア及び海岸管理者と連携し、海岸線の保全に努める。	6,188千円	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみ等の収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。	7,431千円	リサイクル都市推進課
724	伝統美観保存区域等整備事業	松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき、補助対象区域内における伝統的様式の建築物等の新築、改築に対し補助金を交付するもの。	まちづくり部		●	●	●	●			●			●		○	内中原町景観形成区域において、工作物1件の改修補助を実施した。 交付決定:R7.7.3 変更承認:R7.8.19 交付確定:R7.11.19	1,116千円	景観重要公共施設(松江堀川)に隣接する区域及び伝統美観保存区域(塩見縄手地区)において、補修補助を実施中。 交付決定:R8.5.20(松江堀川隣接区域) 交付決定:R8.6.12(伝統美観保存区域)	2,000千円	建築審査課
725	屋外広告物許可事務事業	市民の安全や良好な景観を守るため、松江市屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物対策として是正指導及び簡易除却を行い、屋外広告物の適正化を図る。	まちづくり部		●	●	●	●			●				○		・令和7年4月1日から令和8年3月31日までの屋外広告物許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:211件(583基) ・変更許可件数:89件(126基) ・更新許可件数:504件(1815基) ・簡易除却数:0件	456千円	・令和8年4月1日から令和8年6月30日までの屋外広告物許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:41件(127基) ・変更許可件数:13件(15基) ・更新許可件数:25件(70基) ・簡易除却数:0件	287千円	建築審査課
726	景観計画促進整備事業	良好な景観形成に関する施策が特に必要と認められる区域を景観計画重点区域に指定する。景観法に基づく行為届出書(又は通知書)について、建築物・工作物等が景観計画に適合しているか確認を行う。必要に応じて、各種団体の代表や専門家等で構成される松江市景観審議会を開催し、良好な景観形成を推進する。	まちづくり部		●	●	●	●			●				○		・令和7年4月1日から令和8年3月31日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:111件 ・通知書:11件	2,182千円	届出提出前のできるだけ早い時期に事前協議を行ってもらえるよう、R7年1月から導入した景観事前協議制度を含め、呼びかけ等を行う。	675千円	建築審査課
727	水辺の利活用促進事業	官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進やミズベリング綾日など水辺でのイベントのほか利活用促進のための社会実験などを行う。	都市整備部		●	●	●	●	●				●		○		・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用推進 ・利活用普及推進イベントを開催(半公園:7月7日「ミズベデカンパイ」、10月11日-12日「ミズベリング綾日」) ・水面利用ルールの協議・調整	784千円	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用推進 ・利活用普及推進イベントを開催予定 ・水面利用ルールの協議・調整・策定予定	800千円	大橋川治水・国県事業推進課
728	河川浄化事業	堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業に加え、河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川においては、島根県との協働により浄化事業を実施する。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・5月27日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施。併せて直営による除去作業を実施。 【R7水草・藻類処分量:34t】 ・河川愛護団による市内河川堤防除草作業を実施。 【R7実施団体(一般):146団体/登録150団体】 【R7実施団体(企業):17団体/登録17団体】	46,877千円	実施状況 ・6月8日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施(継続中)。併せて直営による除去作業を随時実施。 ・河川愛護団による市内河川堤防除草作業を随時実施。 今後の方針 ・堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を継続的に実施していく。 ・河川愛護団による市内河川の堤防除草作業を継続的に実施するとともに、新規団体加入に向け河川愛護団制度を周知していく。	49,820千円	河川課
729	堀川美化事業	堀川遊覧等で集客力のある「堀川」及び「堀川への流入河川・排水路」について、美化清掃を行うとともに周辺環境を整備するもの。	都市整備部		●	●	●	●			●				○		・堀川及び流入水域において直営による巡視を行ない、漂流物の回収及び植栽管理・除草作業を実施。	25,798千円	実施状況 ・堀川及び流入水域において直営による巡視を行ない、漂流物の回収及び植栽管理・除草作業を実施(継続中)。 今後の方針 ・堀川及び流入水域における美化清掃、環境整備を継続的に実施していく。	25,624千円	河川課
730	川から海へ大航海in鹿島実行委員会補助金	鹿島町でそれぞれ行われてきた地域・世代間の交流を深め、自然環境を大切にする地域行事「いかだ下り」や「郷土学習」の事業を同時開催する実行委員会に助成を行う。	市民部		●	●	●	●	●				●	●	○		令和7年7月20日(日)実施 ・当日は鹿島町内3小学校(佐太小学校・恵雲小学校・鹿島東小学校)の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ200人が参加	200千円	例年通り開催予定。	200千円	鹿島支所
731	ぼたん祭事業	実行委員会を組織し、松江市の特産であり、市花・県花である「大根島ぼたん」をテーマとする「松江市大根島ぼたん祭」を開催するもの。	市民部		●	●	●	●	●		●		●		○		・県花、市花である「牡丹」のPRのため、ステージイベントを4月26日(土)27日(日)に八束支所中庭で開催、2日合計約9,200人の来場があった。当日は、華道連盟による展示や協賛イベントなどの開催により、各方面からの来場があった。今後も観光客の誘客につながるよう、支援する。	3,555千円	・県花、市花である「牡丹」のPRのため、4月25日(土)26日(日)には、八束支所中庭でステージイベントを行うとともに、牡丹大空生け込み展示や協賛イベントを同時開催し2日間で約9,000人の来場があった。今後も県内外からの観光客の誘客につながるよう、支援する。	3,519千円	八束支所
732	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		・令和7年8月1日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金を配布。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	4,030千円	・令和8年8月5日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金を配布予定。昨年度、再確認した各活動のねらいや学園(中学校区)ごとの系統性をもとに、市内全小・中・義務教育学校において実施予定。	4,030千円	学校教育課
733	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●		●				○		各校の計画に沿って、校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施。	1,456千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	学校教育課
734	まちのRe－project事業【再掲】	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●	●		●	●		●		○		・遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼(3月発送) ・SNSを活用した情報発信 ・リノベーションまちづくりガイドライン等を活用した普及啓発(4件31部配布) ・都市再生推進法人の指定および業務連携	1千円	・4～7月　都市再生推進法人ヒアリング(R7報告・R8計画) ・4月～翌3月　遊休不動産調査・オーナーへの協力依頼・SNS発信 ・リノベーションまちづくりを推進するため、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。 ・リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。 ・R5年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。	34千円	都市政策課まちづくり推進室